

2サム1: サムエル記下 第1章

2サム1:1 サウルが死んだ後、ダビデはアマレクびとを撃って帰り、ふつかの間チクラグにとどまっていたが、

2サム1:2 3日目となって、ひとりの人が、その着物を裂き、頭に槌をかぶって、サウルの陣営からきた。そしてダビデのもとにきて、地に伏して拝した。

2サム1:3 ダビデは彼に言った、“あなたはどこからきたのか”。彼はダビデに言った、“わたしはイスラエルの陣営から、のがれてきたのです”。

2サム1:4 ダビデは彼に言った、“様子はどうか話さない”。彼はダビデに言った、わたしはイスラエルの陣営から、のがれてきたのです”。

2サム1:5 ダビデは自分と話している若者に言った、“あなたはサウルとその子ヨナタンが死んだのを、どうして知ったのか”。

2サム1:7 彼に話している若者は言った、“わたしは、はからずも、ギルボア山にいましたが、サウルはそのやりによりかかっており、戦車と騎兵とが彼に攻め寄ろうとしていました。

2サム1:7 その時、彼はうしろを振り向いてわたしを見、わたしを呼びましたので、‘ここにいます’とわたしは答えました。

2サム1:8 彼は‘おまえはだれか’と言いましたので、‘アマレクびとです’と答えました。

2サム1:9 彼はまたわたしに言いました。‘そばにきて殺してください。わたしは苦しみに絶えない。まだ命があるからです’。

2サム1:10 そこで、わたしはそのそばにいて彼を殺しました。彼がすでに倒れて、生きることでできないのを知ったからです。そしてわたしは彼の頭にあった冠と、腕につけていた腕輪とを取って、それをわが主のもとに携えてきたのです”。

2サム1:11 そのときダビデは自分の着物をつかんでそれを裂き、彼と共にいた人々も皆同じようにした。

2サム1:12 彼らはサウルのため、またその子ヨナタンのため、また主の民のため、またイスラエルの家のために悲しみ泣いて、夕暮まで食を断った。それは彼らがつるぎに倒れたからである。

2サム1:13 ダビデは自分と話していた若者に言った、“あなたはどこの人ですか”。彼は言った、“アマレクびとで、寄留の他国人の子です”。

2サム1:14 ダビデはまた彼に言った、“どうしてあなたは手を伸べて主の油を注がれた者を殺すことを恐れなかったのですか”。

2サム1:15 ダビデはひとりの若者を呼び、“近寄って彼を撃て”と言った。そこで彼を撃ったので死んだ。

2サム1:16 ダビデは彼に言った、“あなたの流した血の責めはあなたに帰する。あなたが自分の口から、‘わたしは主の油を注がれた者を殺した’と言って自身にむかって証拠を立てたからである”。

2サム1:17 ダビデはこの悲しみの歌をもって、サウルとその子ヨナタンのために哀悼した。――

2サム1:18 これは、ユダの人々に教えるための弓の歌で、ヤシャルの諸にしるされている。――彼は言った。

2サム1:19 “イスラエルよ、あなたの栄光は、あなたの高き所で殺された。ああ、勇士たちは、ついに倒れた。

2サム1:20 ガテにこの事を告げてはいけない。アシケロンのちまたに伝えてはならない。おそらくはベリシテびとの娘たちが喜び、割礼なき者の娘たちが勝ちほこるであろう。

2サム1:21 ギルボアの山よ、露はおまえの上におりるな。死の野よ。雨もおまえの上に降るな。その所に勇士たちの盾は油を塗らずに捨てられた。

2サム1:22 殺した者の血を飲まずには、ヨナタンの弓は退かず、勇士の脂肪を食べないでは、サウルのつるぎは、むなしくは帰らなかった。

2サム1:23 サウルとヨナタンとは、愛され、かつ喜ばれた。彼らは生きるにも、死ぬにも離れず、わしよりも早く、ししよりも強かった。

2サム1:24 イスラエルの娘たちよ、サウルのために泣け。彼は緋色の着物をもって、はなやかにあなたがたを装い、あなたがたの着物に金の飾りをつけた。

2サム1:25 ああ、勇士たちは戦いのさなかに倒れた。ヨナタンは、あなたの高き所で殺された。

2サム1:26 わが兄弟ヨナタンよ、あなたのためわたしは悲しむ。あなたはわたしにとって、いとも楽しい者であった。あなたがわたしを愛するのは世の常のようでなく、女の愛にもまさっていた。

2サム1:27 ああ、勇士たちは倒れた。戦いの器はうせた”。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム2: サムエル記下 第2章

2サム2:1 この後、ダビデは主に問うて言った、“わたしはユダの1つの町に上るべきでしょうか”。主は彼に言われた、“上りなさい”。ダビデは言った、“どこへ上るべきでしょうか”。主は言われた、“ヘブロンへ”。

2サム2:2 そこでダビデはその所へ上った。彼のふたりの妻、エズレルの女アヒノアムと、カルメルびとナバルの妻であったアビガイルも上った。

2サム2:3 ダビデはまた自分と共にいた人々を、皆その家族と共に連れて上った。そして彼らはヘブロンの町々に住んだ。

2サム2:4 時にユダの人々がきて、その所でダビデに油を注ぎ、ユダの家の王とした。人々がダビデに告げて、“サウルを葬ったのはヤベシ・ギレアデの人々である”と言ったので、

2サム2:5 ダビデは使者をヤベシ・ギレアデの人々につかわして彼らに言った、“あなたがたは、主君サウルにこの忠誠をあらわして彼を葬った。どうぞ主があなたがたを祝福されるように。

2サム2:6 どうぞ主がいまあなたがたに、いつくしみと真実を示されるように、あなたがたが、この事をしたので、わたしもまたあなたがたに好意を示すであろう。

2サム2:7 今あなたがたは手を強くし、雄々しくあれ。あなたがたの主君サウルは死に、ユダの家がわたしに油を注いで、彼らの王としたからである”。

2サム2:8 さてサウルの軍の長、ネルの子アブネルは、さきにサウルの子イシボセテを取り、マハナインに連れて渡り、

2サム2:9 彼をギレアデ、アシュルびと、エズレル、エフライム、ベンヤミンおよび全イスラエルの王とした。

2サム2:10 サウルの子イシボセテはイスラエルの王となった時、40歳であって、2年の間、世を治めたが、ユダの家はダビデに従った。

2サム2:11 ダビデはヘブロンについてユダの家の王であった日数は7年と6か月であった。

2サム2:12 ネルの子アブネルを出てギベオンへ行った。

2サム2:13 ゼルヤの子ヨアブとダビデの蹴れいたちも出ていって、ギベオンの池のそばで彼らと出会い、一方は池のこちら側に、一方は池のあちら側にすわった。

2サム2:14 アブネルはヨアブに言った、“さあ、若者たちを立たせて、われわれの前で勝負をさせよう”。ヨアブは言った、“彼らを立たせよう”。

2サム2:15 こうしてサウルの子イシボセテとベニヤミンびととのために12人、およびダビデの家来たち12人を数えて出した。彼らは立って進み、

2サム2:16 おのおの相手の頭を捕え、つるぎを相手のわき腹に刺し、こうして彼らは共に倒れた。それゆえ、その所はヘルカテ・ハヅリムと呼ばれた。そこはギベオンにある。

2サム2:17 その日、戦いはひじょうに激しく、アブネルとイスラエルの人々はダビデの家来たちの前に敗れた。

2サム2:18 その所にゼルヤの3人の子、ヨアブ、アビシャイ、およびアサヘルがいたが、アサヘルは足の早いこと、野のかもしかのようであった。

2サム2:19 アサヘルはアブネルのあとを追っていったが、行くのに右にも左にも曲ることなく、アブネルのあとに走った。

2サム2:20 アブネルは後をふりむいて言った、“あなたはアサヘルであったか”。アサヘルは答えた、“わたしです”。

2サム2:21 アブネルは彼に言った、“右か左に曲って、若者のひとりをつまみ、そのよろいを奪いなさい”。しかしアサヘルはアブネルを追うことをやめず、ほかに向かうとしなかった。

2サム2:22 アブネルはふたたびアサヘルに言った、“わたしを追うことをやめて、ほかに向かいなさい。あなたを地に撃ち倒すことなど、どうしてわたしにできようか。それをすれば、わたしは、どうしてあなたの兄ヨアブに顔を合わせる事ができようか”。

2サム2:23 それでもなお彼は、ほかに向かうことを拒んだので、アブネルは、やりの石突きで彼の腹を突いたので、やりはその背中に刺さった。彼はそこに倒れて、その場で死んだ。そしてアサヘルが倒れて死んでいる場所に来る者は皆立ちどまった。

2サム2:24 しかしヨアブとアビシャイとは、なおアブネルのあとを追ったが、彼らがギベオンの荒野の道のほとり、ギアの前にあるアンマの山にきた時、日は暮れた。

2サム2:25 ベニヤミンの人々はアブネルのあとについてきて、集まり、1隊となって、1つの山の頂に立った。

2サム2:26 その時アブネルはヨアブに呼ばわって言った、“いつまでもつるぎをもって滅ぼそうとするのか。あなたはその結果の悲惨なのを知らないのか。いつまで民にその兄弟を追うことをやめよと命じないのか”。

2サム2:27 ヨアブは言った、“神は生きておられる。もしあなたが言いださなかったならば、民はおのおのその兄弟

を追わずに、朝のうちに去っていたであろう”。

2サム2:28 こうしてヨアブは角笛を吹いたので、民はみな立ちとどまって、もはやイスラエルのあとを追わず、また重ねて戦わなかった。

2サム2:29 アブネルとその従者たちは、世もすがら、アラバを通って行き、ヨルダンを渡り、昼まで行進を続けてマハナインに着いた。

2サム2:30 ヨアブはアブネルを追うことをやめて帰り、民をみな集めたが、ダビデの家来たち19人とアサヘルとが見当らなかった。

2サム2:31 しかし、ダビデの家来たちは、アブネルの従者であるベニヤミンの人々360人を撃ち殺した。

2サム2:32 人々はアサヘルを取り上げてベツレヘムにあるその父の墓に葬った。ヨアブとその従者たちは、夜もすがら行って、夜明けにヘブロンに着いた。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム3: サムエル記下 第3章

2サム3:1 サウルの家とダビデの家との間の戦争は久しく続き、ダビデはますます強くなり、サウルの家はますます弱くなった。

2サム3:2 ヘブロンでダビデに男の子が生れた。彼の長子はエズレルの女アヒノアムの産んだアムノン、

2サム3:3 その次はカルメルびとナバルの妻であったアビガイルの産んだキレアブ、第3はゲシュルの追うタルマイの娘マアカの子アブサロム、

2サム3:4 第4はハギテの子アドニヤ、第5はアビタルの子シバテヤ、

2サム3:5 第5はダビデの妻エグラの産んだイテレアム。これらの子がヘブロンでダビデに生れた。

2サム3:6 サウルの家とダビデの家とが戦いを続けている間に、アブネルはサウルの家で、強くなってきた。

2サム3:7 さてサウルには、ひとりのそばめがあった。その名をリヅパといい、アヤの娘であったが、イシボセテはアブネルに言った、“あなたはなぜわたしの父のそばめのところにはいったのですか”。

2サム3:8 アブネルはイシボセテの言葉を聞き、非常に怒って言った、“わたしはユダの犬のかしらですか。わたしはきょう、あなたの父サウルの家と、その兄弟と、その友人とに忠誠をあらわして、あなたをダビデの手に渡すことをしなかったのに、あなたはきょう、女の事のあやまちを挙げ◆

3,8-1, 挙げてわたしを責められる。

2サム3:9 主がダビデに誓われたことを、わたしが彼のためになし遂げないならば、神がアブネルをいくえにも罰しられるように。

2サム3:10 すなわち王国をサウルの家から移し、ダビデの位をダンからベニルシバに至るまで、イスラエルとユダの上に立たせられるであろう”。

2サム3:11 イシボセテはアブネルを恐れたので、ひと言も彼に答えることができなかった。

2サム3:12 アブネルはヘブロンにいるダビデのもとに使者をつかわして言った、“国はだれのものですか。わたしと契約を結びなさい。わたしはあなたに力添えして、イスラエルをことごとくあなたのものにしましょう”。

2サム3:13 ダビデは言った、“よろしく。わたしは、あなたと契約を結びましょう。ただし1つの事をあなたに求めます。あなたがきてわたしの顔を見るとき、まずサウルの娘ミカルを連れて来るのであれば、わたしの顔を見ることはできません”。

2サム3:14 それからダビデは使者をサウルの子イシボセテにつかわして言った、“ペリシテびとの陽の皮1百をもつてめとったわたしの妻ミカルを引き渡しなさい”。

2サム3:15 そこでイシボセテは人をやって彼女をその夫、ライシの子パルテエルから取ったので、

2サム3:16 その夫は彼女と共に行き、泣きながら彼女のあとについて、バホルムまで行ったが、アブネルが彼に“帰って行け”と言ったので彼は帰った。

2サム3:17 アブネルはイスラエルの長老たちと協議して言った、“あなたがたは以前からダビデをあなたがたの追うとすることを求めていましたが、

2サム3:18 今それをしなさい。主がダビデについて、‘わたしのしもべダビデの手によって、わたしの民イスラエルをペリシテびとの手、およびもろもろの敵の手から救い出すであろう’と言われたからです”。

2サム3:19 アブネルはまたベニヤミンにも語った。そしてアブネルはイスラエルとベニヤミンの全家が良いと思うことをみな、ヘブロンでダビデに告げようとして出発した。

2サム3:20 アブネルが20人を従えてヘブロンにいるダビデのもとに行った時、ダビデはアブネルと彼に従っている従者たちのために酒宴を設けた。

2サム3:21 アブネルはダビデに言った、“わたしは立って行き、イスラエルをことごとく、わが主、王のもとに集めて、あなたと契約を結ばせ、あなたの臨むものをことごとく治められるようにいたしましょう”。こうしてダビデはアブネルを送り帰らせたので彼は安全に去って行った。

2サム3:22 ちょうどその時、ダビデの家来たちはヨアブと共に多くのぶんどり者を携えて略奪から帰ってきた。しかしアブネルはヘブロンにダビデのもとにはいなかった。ダビデが彼を帰らせて彼が安全に去ったからである。

2サム3:23 ヨアブおよび彼と共にいた軍勢がみな帰ってきたとき、人々はヨアブに言った、“ネルの子アブネルが王のもとにきたが、王が彼を帰らせたので彼は安全に去った”。

2サム3:24 そこでヨアブは王のもとに行き行って言った、“あなたは何をなさったのですか。アブネルがあなたの所にきたのに、あなたはどのように、彼を返し去らせられたのですか。

2サム3:25 ネルの子アブネルがあなたを欺くためにきたこと、そしてあなたの出入りを知り、またあなたのなさっていることを、ことごとく知るためにきたことわなにはござんじです”。

2サム3:26 ヨアブはダビデの所から出てきて、使者をつかわし、アブネルを追わせたので、彼らはシラの井戸から彼を連れて帰った。しかしダビデはその事を知らなかった。

2サム3:27 アブネルがヘブロンに帰ってきたとき、ヨアブはひそかに語ろうといって彼を門のうちに連れて行き、その所で彼の腹を刺して死なせ、自分の兄弟アサヘルを報いた。

2サム3:28 その後ダビデはこの事を聞いて言った、“わたしとわたしの王国とは、ネルの子アブネルの血に関して、主の前に永久に罪はない。

2サム3:29 どうぞ、その罪がヨアブの頭と、その父の全家に帰するように、またヨアブの家には流出を病む者、らい病人、つえにたよる者、つるぎに倒れる者、または食物の乏しい者が絶えないように”。

2サム3:30 こうしてヨアブとその弟アビシャイとはアブネルを殺したが、それは彼がギベオンの戦いで彼らの兄弟アサヘルを殺したためであった。

2サム3:31 ダビデはヨアブおよび自分と共にいるすべての民に言った、“あなたがたは着物を裂き、荒布をまとい、アブネルの前に嘆きながら行きなさい”。そしてダビデ王はその棺のあとに従った。

2サム3:32 人々はアブネルをヘブロンに葬った。王はアブネルの墓で声をあげて泣き、民もみな泣いた。

2サム3:33 王はアブネルのために悲しみの歌を造って言った。“愚かな人の死ぬように、アブネルがどうして死んだのか。

2サム3:34 あなたの手は縛られず、足には足かせもかけられないのに、悪人の前に倒れる人のように、あなたは倒れた”。そして民は皆、ふたたび彼のために泣いた。

2サム3:35 民はみなきて、日のあるうちに、ダビデにパンを食べさせようとしたが、ダビデは誓って言った、“もしわたしが日の入る前に、パンでも、ほかのものでも味わうならば、神がわたしをいくえにも罰しられるように”。

2サム3:36 民はみなそれを見て満足した。すべて王のすることは民を満足させた。

2サム3:37 その日すべての民およびイスラエルは皆、ネルの子アブネルを殺したのは、王の意思によるものでないことを知った。

2サム3:38 王はその家来たちに言った、“この日イスラエルで、ひとりの偉大なる将軍が倒れたのをあなたがたは知らないのか。

2サム3:39 わたしは油を注がれた王であるけれども、今日なお弱い。ゼルヤの子であるこれらの人々はわたしの手におえない。どうぞ主が悪を行う者に、その悪にしたがって報いられるように”。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム4: サムエル記下 第4章

2サム4:1 サウルの子イシボセテは、アブネルがヘブロンで死んだことを聞いて、その力を失い、イスラエルは皆あわてた。

2サム4:2 サウルの子イシボセテにはふたりの略奪隊の隊長があった。ひとりの名はバアナ、他のひとりの名はレカブといって、ベニヤミンの子孫であるベロテびとリンモンの子たちであった。(それはベロテもまたベニヤミンのうちに数えられているからである。

2サム4:3 ベロテびとギットタイムに逃げて行って、今日までその所に寄留している)。

2サム4:4 さてサウルの子ヨナタンに足のなえた子がひとりあった。イズレルからサウルとヨナタンの事の知らせがき

た時、彼は5歳であった。うばが彼を抱いて逃げたが、急いで逃げる時、その子は落ちて足なえとなった。その名はメピボセテといった。

2サム4:5 ベロテびとリンモンの子たち、レカブとバアナとは出立して、日の暑いころイシボセテの家に来たが、イシボセテは昼寝をしていた。

2サム4:6 家の門を守る女は麦をあおぎ分けていたが、眠くなった。そこでレカブとその兄弟バアナは、ひそかに中にはいった。

2サム4:7 彼らが家にはいった時、イシボセテは寝室で床の上に寝ていたので、彼らはそれを撃って殺し、その首をはね、その首を取って、よもすがらアラバの道を行き、

2サム4:8 イシボセテの首をヘブロンにいるダビデのもとに携えて行って王に言った、“あなたの命を求めたあなたの敵サウルの子イシボセテの首です。主はきょう、わが君、王のためにサウルとそのすえとに報復されました。

2サム4:9 ダビデはベロテびとリンモンの子レカブとその兄弟に答えた、“わたしの命を、もろもろの苦難から救われた主は生きておられる。

2サム4:10 わたしはかつて、人がわたしに告げて、‘見よ、サウルは死んだ’と言って、みずから良いおとずれを伝える者と思っていた者を捕えてチグラグで殺し、そのおとずれに報いたのだ。

2サム4:11 悪人が正しい人をその家の床の上で殺したときは、なおさらのことだ。今わたしが、彼の血を流した罪を報い、あなたがたを、この地から絶ち滅ぼさないでおくであろうか”。

2サム4:12 そしてダビデは若者たちに命じたので、若者たちは彼らを殺し、その手足を切り離し、ヘブロンの池のほとりで木に掛けた。人々はイシボセテの首を持って行って、ヘブロンにあるアブネルの墓に葬った。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム5: サムエル記下 第5章

2サム5:1 イスラエルのすべての部族はヘブロンにいるダビデのもとにきて言った、“われわれは、あなたの骨肉です。

2サム5:2 先にサウルがわれわれの王であった時にも、あなたはイスラエルを率いて出入りされました。そして主はあなたに、‘あなたはわたしの民イスラエルを牧するであろう。またあなたはイスラエルの君となるであろう’と言われました”。

2サム5:3 このようにイスラエルの長老たちが皆、ヘブロンにいる王のもとにきたので、ダビデ王はヘブロンで主の前に彼らと契約を結んだ。そして彼らはダビデに油を注いでイスラエルの王とした。

2サム5:4 ダビデは王となったとき30歳で、40年の間、世を治めた。

2サム5:5 すなわちヘブロンで7年6か月ユダを治め、またエルサレムで33年、全イスラエルとユダを治めた。

2サム5:6 王とその従者たちとはエルサレムへ行って、その地の住民エブスびとを攻めた。エブスびとはダビデに言った、“あなたはけっして、ここに攻め入ることはできない。かえって、めしいや足なえでも、あなたを追い払うであろう”。彼らが“ダビデはここに攻め入ることはできない”◆

5,6-1,と思ったからである。

2サム5:7 ところがダビデはシオンの要害を取った。これがダビデの町である。

2サム5:8 その日ダビデは、“だれでもエブスびとを撃とうとする人は、水をくみ上げる縦穴を上って行って、ダビデが心に憎んでいる足なえやめしを撃て”と言った、それゆえに人々は、“めしいや足なえは、宮にはいつてはならない”といいならわしている。

2サム5:9 ダビデはその要害に住んで、これをダビデの町と名づけた。またミロから撃ちの周囲に城壁を築いた。

2サム5:10 こうしてダビデはますます大いなる者となり、かつ万軍の神、主が彼と共におられた。

2サム5:11 ツロの王ヒラムはダビデに使者をつかわし、香柏および大工と石工を送った。彼らはダビデのために家を建てた。

2サム5:12 そしてダビデは主が自分を堅く立ててイスラエルの王とされたこと、主がその民イスラエルのためにその王国を興されたことを悟った。

2サム5:13 ダビデはヘブロンからきて後、さらにエルサレムで妻とそばめを入れたので、むすこと娘がまたダビデに生れた。

2サム5:14 エルサレムで彼に生れた者の名は次のとおりである。シャイムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、

2サム5:15 イブハル、エリシャア、ネペグ、ヤピア、

2サム5:16 エリシャマ、エリアダ、およびエリペレテ。

2サム5:17 さてペリシテびとは、ダビデが油を注がれてイスラエルの王になったことを聞き、みな上ってきてダビデを捜したが、ダビデはそれを聞いて要害に下って行った。

2サム5:18 ペリシテびとはきて、レバイムの谷に広がっていた。

2サム5:19 ダビデは主に問うて言った、“ペリシテびとに向かって昇べきでしょうか。あなたは彼らをわたしの手に渡されるでしょうか”。主はダビデに言われた、“上るがよい。わたしはかならずペリシテびとをあなたの手に渡すであろう”。

2サム5:20 そこでダビデはバアル・ペラジムへ行って、彼らをその所で撃ち破り、そして言った、“主は、破り出る水のように、敵をわたしの前に破られた”。それゆえにその所の名はバアル・ペラジムと呼ばれている。

2サム5:21 ペリシテとはその所に彼らの偶像を捨てて行ったので、ダビデとその従者たちはそれを運び去った。

2サム5:22 ペリシテびとが、ふたたび上ってきて、レバイムの谷に広がったので、

2サム5:23 ダビデは主に問うたが、主は言われた、“上ってはならない。彼らのうしろに回り、バルサムの木の前から彼らを襲いなさい”。

2サム5:24 バルサムの木の上に行進の音が聞こえたならば、あなたは奮い立たなければならない。その時、主があなたの前に出て、ペリシテびとの軍勢を撃たれるからである”。

2サム5:25 ダビデは、主が命じられたようにして、ペリシテびとを撃ち、ゲバからベゼルに及んだ。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム6: サムエル記下 第6章

2サム6:1 ダビデは再びイスラエルのえり抜きの者3万人をことごとく集めた。

2サム6:2 そしてダビデは立って、自分と共にいるすべての民と共にバアル・ユダへ行って、神の箱をそこからかき上ろうとした。この箱はケルビムの上に座しておられる万軍の主の名をもって呼ばれている。

2サム6:3 彼らは神の箱を新しい車に載せて、山の上にあるアビナダビの家から運び出した。

2サム6:4 アビナダブの子たち、ウザとアヒオとが神の箱を載せた新しい車を指揮し、ウザは神の箱のかたわらに沿い、アヒオは箱の前に進んだ。

2サム6:5 ダビデとイスラエルの全家は琴と立琴と手鼓と鈴とシンバルとをもって歌をうたい、力をきわめて、主の前に踊った。

2サム6:6 彼らがナコンの打ち場にきた時、ウザは神の箱に手を伸べて、それを押さえた。牛がつまずいたからである。

2サム6:7 すると主はウザに向かって怒りを発し、彼が手を箱に伸べたので、彼をその場で撃たれた。彼は神の箱のかたわらで死んだ。

2サム6:8 主がウザを撃たれたので、ダビデは怒った。その所は今日までベレヅ・ウザと呼ばれている。

2サム6:9 その日ダビデは主を恐れて言った、“どうして主の箱がわたしの所に来ることができようか”。

2サム6:10 ダビデは主の箱をダビデの町に入れることを好まず、これを移してガテびとオベデエドムの家に運ばせた。

2サム6:11 神の箱はカテびとオベデエドムの家に3か月とどまった。主はオベデエドムとその全家を祝福された。

2サム6:12 しかしダビデ王は、“主が神の箱のゆえに、オベデエドムの家とそのすべての所有を祝福されている”と聞き、ダビデは行って、喜びをもって、神の箱をオベデエドムの家からダビデの町にかき上った。

2サム6:13 主の箱をかく者が6歩進んだ時、ダビデは牛と肥えた者と犠牲としてささげた。

2サム6:14 そしてダビデは力をきわめて、主の箱の前で踊った。その時ダビデは亜麻布のエゴデをつけていた。

2サム6:15 こうしてダビデとイスラエルの全家とは、喜びの叫びと角笛の音をもって、神の箱をかき上った。

2サム6:16 主の箱がダビデの町にはいった時、サウルの娘ミカルは窓からながめ、ダビデ王が主の前に舞い踊るのを見て、心のうちにダビデをさげすんだ。

2サム6:17 人々は主の箱をかき入れて、ダビデがそのために張った天幕の中のその場所に置いた。そしてダビデは燔祭と酬恩祭を主の前にささげた。

2サム6:18 ダビデは燔祭と酬恩祭をささげ終った時、万軍の主の名によって民を祝福した。

2サム6:19 そしてすべての民、イスラエルの全民衆に、男にも女にも、おのおのパンの菓子1個、肉1きれ、ほしぶどう1かたまりを分け与えた。こうして民はみなおのおのその家に帰った。

2サム6:20 ダビデが家族を祝福しようとして帰ってきた時、サウルの娘ミカルはダビデを出迎えて言った、“きょうイスラエルの王はなんと威厳のあったことでしょう。いたずら者が、恥も知らず、その身を現すように、きょう家来たちのはしためらの前に自分の身を現されました”。

2サム6:21 ダビデはミカルに言った、“あなたの父よりも、またその全家よりも、むしろわたしを選んで、主の民イスラエルの君とせられた主の前に踊ったのだ。わたしはまた主の前に踊るであろう。

2サム6:22 わたしはこれよりももっと軽んじられるようにしよう。そしてあなたの目には卑しめられるであろう。しかしわたしは、あなたがさきに言った、はしためたちに誉を得るであろう”。

2サム6:23 こうしてサウルの娘ミカルは死ぬ日まで子供がなかった。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム7: サムエル記下 第7章

2サム7:1 さて、王が自分の家に住み、また主が周囲の敵をことごとく打ち退けて彼に安息を賜った時、

2サム7:2 王は預言者ナタンに言った、“見よ、今わたしは、香柏の家に住んでいるが、神の箱はなお幕屋のうちに”。

2サム7:3 ナタンは王に言った、“主があなたと共におられますから、行って、すべてあなたの心にあるところを行いなさい”。

2サム7:4 その夜、主の言葉がナタンに臨んで言った、

2サム7:5 “行って、わたしのしもべダビデに言いなさい、‘主はこう仰せられる。あなたはわたしの住む家を建てようとするのか。

2サム7:6 わたしはイスラエルの人々をエジプトから導き出した日から今日まで、家に住まわず、天幕をすまいとして歩んできた。

2サム7:7 わたしがイスラエルのすべての人々と共に歩んだすべての所で、わたしがわたしの民イスラエルを牧することを命じたイスラエルのさばきづかさのひとりに、ひと言でも“どうしてあなたがたはわたしのために香柏の家を建てないのか”と、言ったことがあるであろうか’。

2サム7:8 それゆえ、今あなたは、わたしのしもべダビデにこう言いなさい、‘万軍の主はこう仰せられる。わたしはあなたを牧場から、羊に従っている所から取って、わたしの民イスラエルの君とし、

2サム7:9 あなたがどこへ行くにも、あなたと共におり、あなたのすべての敵をあなたの前から立ち去った。わたしはまた地上の大いなる者の名のような大いなる名をあなたに得させよう。

2サム7:10 そしてわたしの民イスラエルのために1つの所を定めて、彼らを植えつけ、彼らを自分の所に住ませ、重ねて動くことのないようにするであろう。

2サム7:11 また前のように、わたしがわたしの民イスラエルの上にさばきづかさを立てた日からこのかたのように、悪人が重ねてこれを悩ますことはない。わたしはあなたのもろもろの敵を打ち退けて、あなたに安息を与えるであろう。主はまた“あなたのために家を造る”と仰せられる。

2サム7:12 あなたが日が満ちて、先祖たちと共に眠る時、わたしはあなたの身から出る子をあなたのあとに立てて、その王国を堅くするであろう。

2サム7:13 彼はわたしの名のために家を建てる。わたしは長くその国の位を堅くしよう。

2サム7:14 わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となるであろう。もし彼が罪を犯すならば、わたしは人のつえと人の子のむちをもって彼を懲らす。

2サム7:15 しかしわたしはわたしのいつくしみを、わたしがあなたの前から除いたサウルから取り去ったように、彼らは取り去らない。

2サム7:16 あなたの家と王国はわたしの前に長く保つであろう。あなたの位は長く堅うせられる”。

2サム7:17 ナタンはすべてこれらの言葉のように、またすべてこの幻のようにダビデに語った。

2サム7:18 その時ダビデ王は、はいって主の前に座して言った、“主なる神よ、わたしがだれ、わたしの家は何であるので、あなたはこれまでわたしを導かれたのですか。

2サム7:19 主なる神よ、これはなおあなたの目には小さい事です。主なる神よ、あなたはまたしもべの家の、はるか後の事を語って、きたるべき代々のことを示されました。

2サム7:20 ダビデはこの上なをあなたに申しあげることができましよう。主なる神よ、あなたはしもべを知っておられるのです。

2サム7:21 あなたの約束のゆえに、またあなたの心に従って、あなたはこのもろもろの大いなる事を行い、しもべに

それを知らせられました。

2サム7:22 主なる神よ、あなたは偉大です。それは、われわれがすべて耳に聞いたところによれば、あなたのような者はなく、またあなたのほかに神はないからです。

2サム7:23 地のどの国民が、あなたの民イスラエルのものでありましょうか。これはkmiが行って、自分のためにあがなって民とし、自らの名をあげられたもの、また彼らのために大いなる恐るべきことをなし、その民の前から国びとと神々を追い出されたものです。

2サム7:24 そしてあなたの民イスラエルを永遠にあなたの民として、自分のために、定められました。主よ、あなたは彼らの神となられたのです。

2サム7:25 主なる神よ、今あなたが、しもべとしもべの家とについて語られた言葉を長く堅うして、あなたの言われたとおりにしてください。

2サム7:26 そうすれば、あなたの名はとこしえにあがめられて、'万軍の主はイスラエルの神である'と謂れ、あなたのしもべダビデの家は、あなたの前に堅く立ちます。

2サム7:27 万軍の主、イスラエルの神よ、あなたはしもべに示して、'おまえのために家を建てよう'と言われました。それゆえ、しもべはこの祈りをあなたにささげる勇気を得たのです。

2サム7:28 主なる神よ、あなたは神にましまし、あなたの言葉は真実です。あなたはこの良き事をしもべに約束されました。

2サム7:29 どうぞ今、しもべの家を祝福し、あなたの前に長くつかせてくださるように。主なる神よ、あなたがそれを言われたのです。どうぞあなたの祝福によって、しもべの家がながく祝福されますように”。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム8: サムエル記下 第8章

2サム8:1 この後ダビデはペリシテびとを撃って、これを征服した。ダビデはまたペリシテびとの手からメテグ・アンマを取った。

2サム8:2 彼はまたモアブを撃ち、彼らを地に伏させ、なわをもって彼らを測った。すなわち2筋のなわをもって殺すべき者を測り、1筋のなわをもって生かしておく者を測った。そしてモアブびとは、ダビデのしもべとなって、みつぎを納めた。

2サム8:3 ダビデはまたレホブの子であるゾバの王ハダデゼルが、ユフラテ川のほとりにその勢力を回復しようとして行くところを撃った。

2サム8:4 そしてダビデは彼から騎兵千七百人、歩兵二万人を取った。ダビデはまた一百の戦車の馬を残して、そのほかの戦車の馬はみなその足の筋を切った。

2サム8:5 ダマスコのスリヤびとが、ゾバの王ハダデゼルを助けるためにきたので、ダビデはスリヤびと二万二千人を殺した。

2サム8:6 そしてダビデはダマスコのスリヤに守備隊を置いた。スリヤびとは、ダビデのしもべとなって、みつぎを納めた。主はダビデにすべてその行く所で勝利を与えられた。

2サム8:7 ダビデはハダデゼルのしもべらが持っていた金の盾を奪って、エルサレムに持ってきた。

2サム8:8 ダビデ王はまたハダデゼルの町、ベタとペロタイから、ひじょうに多くの青銅を取った。

2サム8:9 時にハマテの王トイは、ダビデがハダデゼルのすべての軍勢を打ち破ったことを聞き、

2サム8:10 その子ヨラムをダビデ王のもとにつかわして、彼にあいさつし、かつ祝を述べさせた。ハダデゼルはかつてしばしばトイと戦いを交えたが、ダビデはハダデゼルと戦ってこれを打ち破ったからである。ヨラムが銀の器と金の器と青銅の器を携えてきたので、

2サム8:11 ダビデ王は征服したすべての国民から取ってささげた金銀と共にこれをも主にささげた。

2サム8:12 すなわちエドム、モアブ、アンモンの人々、ペリシテびと、アマレクから獲た者、およびゾバの王レホブの子ハダデゼルから獲たぶんどり者と共にこれをささげた。

2サム8:13 こうしてダビデは名声を得た。彼は帰ってきてから塩の谷でエドムびと一万八千人を撃ち殺した。

2サム8:14 そしてエドムに守備隊を置いた。すなわちエドムの全地に守備隊を置き、エドムびとは皆ダビデのしもべとなった。主はダビデにすべてその行く所で勝利を与えられた。

2サム8:15 こうしてダビデはイスラエルの全地を治め、そのすべての民に正義と公平を行った。

2サム8:16 ゼルヤの子ヨアブは軍の長、アヒルデの子ヨシャバデは史官、

2サム8:17 アヒブの子ザドクとアビヤタルの子アヒメレクは祭司、セラヤは書記官、

2サム8:18 エホヤダの子ベナヤはケレテびとペレテびとの長、ダビデの子たちは祭司であった。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム9: サムエル記下 第9章

2サム9:1 時にダビデは言った、“サウルの家の人で、なお残っている者があるか。わたしはヨナタンのために、その人に恵みを施そう”。

2サム9:2 さて、サウルの家にヂバという名のしもべがあつたが、人々が彼をダビデのもとに呼び寄せたので、王は彼に言った、“あなたがヂバか”。彼は言った、“しもべがそうです”。

2サム9:3 王は言った、“サウルの家の人はまだ残っていませんか。わたしはそお人に神の恵みを施そうと思う”。ヂバは王に言った、“ヨナタンの子がまだおります。あしなえです”。

2サム9:4 王は彼に言った、“その人はどこにいるのか”。ヂバは王に言った、“彼はロ・デバルのアンミエルの子マキルの家におります”。

2サム9:5 ダビデ王は人をつかわして、ロ・デバルのアンミエルの子マキルの家から、彼を連れてこさせた。

2サム9:6 サウルの子ヨナタンの子であるメピボセテはダビデのもとにきて、ひれ伏して拝した。ダビデが、“メピボセテよ”と言ったので、彼は、“しもべは、ここにおります”と答えた。

2サム9:7 ダビデは彼に言った、“恐れることはない。わたしはかならずあなたの父ヨナタンのためにあなたに恵みを施しましょう。あなたの父サウルの地をみなあなたに返します。またあなたは常にわたしの食卓で食事をしなさい”。

2サム9:8 彼は拝して言った、“あなたは、しもべを何とおぼしめして、死んだ犬のようなわたしを顧みられるのですか”。

2サム9:9 王はサウルのしもべヂバを呼んで言った、“すべてサウルとその家に属する物を皆、わたしはあなたの主人の子に与えた”。

2サム9:10 あなたと、あなたの子たちと、しもべたちとは、彼のために地を耕して、あなたの主人の子が食べる食物を取り入れなければならない。しかしあなたの主人の子メピボセテはいつもわたしの食卓で食事をするであろう”。ヂバには十五人の男の子と二十人のしもべがあつた。

2サム9:11 ヂバは王に言った、“すべて王わが主君がしもべに命じられるとおりに、しもべはいたしましょう”。こうしてメピボセテは王の子のひとりのようにダビデの食卓で食事をした。

2サム9:12 メピボセテには小さい子があつて、名をミカといった。そしてヂバの家にすでいる者はみなメピボセテのしもべとなった。

2サム9:13 メピボセテはエルサレムに住んだ。彼がいつも王の食卓で食事をしたからである。彼は両足ともに、なえていた。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム10: サムエル記下 第10章

2サム10:1 この後アンモンの人々の王が死んで、その子ハヌンがこれに代って王となった。

2サム10:2 そのときダビデは言った、“わたしはナハシの子ハヌンに、その父がわたしに恵みを施したように、恵みを施そう”。そしてダビデは彼を、その父のゆえに慰めようと、しもべをつかわした。ダビデのしもべたちはアンモンの人々の地に行ったが、

2サム10:3 アンモンの人々のつかさたちはその主君ハヌンに言った、“ダビデが慰める者をあなたののもとにつかわしたのは彼があなたの父を尊ぶためだと思われますか。ダビデがあなたののもとに、しもべたちをつかわしたのは、この町をうかがい、それを探つて、滅ぼすためではありませんか”◆

10,4,そこでハヌンはダビデのしもべたちを捕え、おのおの、ひげの半ばをそり落し、その着物を巾ほどから断ち切り腰の所までにして、彼らを帰らせた。

2サム10:5 人々がこれをダビデに告げたので、ダビデは人をつかわして彼らを迎えさせた。その人々はひじょうに恥じたからである。そこで王は言った、“ひげがのびるまでエリコにとどまって、その後、帰りなさい”。

2サム10:6 アンモンの人々は自分たちがダビデに憎まれていることがわかったので、人をつかわして、ペテ・レホブのスリヤびととゾバのスリヤびととの歩兵二万人およびマアカ王とその一千人、トブの人一万二千人を雇い入れ

た。

2サム10:7 ダビデはそれを聞いて、ヨアブと勇士の全軍をつかわしたので、

2サム10:8 アンモンの人々は出て、門の入口に戦いの供えをした。ゾバとレホブとのスリヤびと、およびトブとマアカの人々は別の野にいた。

2サム10:9 ヨアブは戦いが前後から自分に迫ってくるのを見て、イスラエルのえり抜きの兵士のうちから選んで、これをスリヤびとに対して備え、

2サム10:10 そのほかの民を自分の兄弟アビシャイのてにわたして、アンモンの人々に対して備えさせ、

2サム10:11 そして言った、“もしスリヤびとがわたしに手ごわいときは、わたしを助けてください。もしアンモンの人々があなたに手ごわいときは、行ってあなたを助けましょう。

2サム10:12 勇ましくしてください。われわれの民のため、われわれの神の町々のため、勇ましくしましょう。どうぞ主が良いと思われることをされるように”。

2サム10:13 ヨアブが自分と一緒にいる民と共に、スリヤびとに向かって戦おうとして近づいたとき、スリヤびとは彼の前から逃げた。

2サム10:14 アンモンの人々はスリヤびとが逃げるのを見て、彼らもまたアビシャイの前から逃げて町にはいった。そこでヨアブはアンモンの人々を撃つことをやめてエルサレムに帰った。

2サム10:15 しかしスリヤびとは自分たちのイスラエルに打ち敗れたのを見て、共に集まった。

2サム10:16 そしてハダデゼルは人をつかわし、ユフラテ川の向こう側にいるスリヤびとを率いてヘラムにこさせた。ハダデゼルの軍の長ショバクがこれを率いた。

2サム10:17 この事がダビデに聞こえたので、彼はイスラエルをことごとく集め、ヨルダンを渡ってヘラムにきた。スリヤびとはダビデに向かって備えをして彼と戦った。

2サム10:18 しかしスリヤびとがイスラエルの前から逃げたので、ダビデはスリヤびとの戦車の兵七百、騎兵四万を殺し、またその軍の長ショバクを撃ったので、彼はその所で死んだ。

2サム10:19 ハダデゼルの家来であった王たちはみな、自分たちがイスラエルに打ち敗れたのを見て、イスラエルと和を講じ、これを仕えた。こうしてスリヤびとは恐れて再びアンモンの人々を助けることをしなかった。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム11: サムエル記下 第11章

2サム11:1 春になって、王たちが戦いに出るに及んで、ダビデはヨアブおよび自分と共にいる家来たち、並びにイスラエルの全軍をつかわした。彼らはアンモンの人々を滅ぼし、ラバを包囲した。しかしダビデはエルサレムにとどまっていた。

2サム11:2 さて、ある日の夕暮、ダビデは床から起き出て、王の家の屋上を歩いていたが、屋上から、ひとりの女がからだを洗っているのを見た。その女は非常に美しかった。

2サム11:3 ダビデは人をつかわしてその女のことを探らせたが、ある人は言った、“これはエリアムの娘で、ヘテびとウリヤの妻バテシバではありませんか”。

2サム11:4 そこでダビデは使者をつかわして、その女を連れてきた。女は彼の所にきて、彼はその女と寝た。(女は身を汚れを清めていたのである。)こうして女はその家に帰った。

2サム11:5 女は妊娠したので、人をつかわしてダビデに告げて言った、“わたしは子をはらみました”。

2サム11:6 そこでダビデはヨアブに、“ヘテびとウリヤをわたしの所につかわせ”と行ってやったので、ヨアブはウリヤをダビデの所につかわした。

2サム11:7 ウリヤがダビデの所にきたので、ダビデは、ヨアブはどうしているか、民はどうしているか、戦いはうまくいっているかとたずねた。

2サム11:8 そしてダビデはウリヤに言った、“あなたの家に行って、足を洗いなさい”。ウリヤは王の家を出ていったが、王の贈り物が彼の後に従った。

2サム11:9 しかしウリヤは王の家の入口で主君の家来たちと共に寝て、自分の家に帰らなかった。

2サム11:10 人々がダビデに、“ウリヤは自分の家に帰りませんでした”と告げたので、ダビデはウリヤに言った、“旅から帰ってきたのではないか。どうして家に帰らなかったのか”。

2サム11:11 ウリヤはダビデに言った、“神の箱も、イスラエルも、ユダも、小屋の中に住み、わたしの主人ヨアブと、わが主君の家来たちが野のおもてに陣を取っているのに、わたしはどうして家に帰って食い飲みし、妻と寝ることができましょう。あなたは生きておられます。あなたの魂は生◆

10,11-1,魂は生きています。わたしはこの事をいたしません”。

2サム10:12 ダビデはウリヤに言った、“きょうも、ここにとどまりなさい。わたしはあす、あなたを去らせましょう”。そこでウリヤはその日と次の日エルサレムにとどまった。

2サム10:13 ダビデはかれを招いて自分の前で食い飲みさえ、彼を酔わせた。夕暮になって彼は出ていって、その床に、主君の家来たちと共に寝た。そして自分の家には下って行かなかった。

2サム10:14 朝になってダビデはヨアブにあてた手紙を書き、ウリヤのてに託してそれを送った。

2サム10:15 彼はその手紙に、“あなたがたはウリヤを激しい戦いの最前線に出し、彼の後から退いて、彼を討死させよ”と書いた。

2サム10:16 ヨアブは町を囲んでいたので、勇士たちがいると知っていた場所にウリヤを置いた。

2サム10:17 町の人々が出てきてヨアブと戦ったので、民のうち、ダビデの家来たちにも、倒れるものがあり、ヘテびとウリヤも死んだ。

2サム10:18 ヨアブは人をつかわして戦いのことをつぶさにダビデに告げた。

2サム10:19 ヨアブはその使者に命じて言った、“あなたが戦いのことをつぶさに王に語り終ったとき、

2サム10:20 もし王が怒りを起して、‘あなたがたはなぜ戦おうとしてそんなに町に近づいたのか。彼らが城壁の上から射るのを知らなかったのか。

2サム10:21 エルベセテの子アビメレクを撃ったのはだれか。ひとりの女が城壁の上から石うすの上石を投げて彼をテベツで殺したのではなかったか。あなたがたはなぜそんなに城壁に近づいたのか’と言われたならば、その時あなたは、‘あなたのしもべ、ヘテびとウリヤもまた死にました’と◆

10,21-1,と言いなさい”。

2サム10:22 こうして使者は行き、ダビデのもとにきて、ヨアブが言いつかわしたことをことごとく告げた。

2サム10:23 使者はダビデに言った、“敵はわれわれよりも有利な位置を占め、出てきてわれわれを野で攻めましたが、われわれは町の入口まで彼らを追い返しました。

2サム10:24 その時、射手どもは城壁からあなたの家来たちを射ましたので、王の家来のある者は死に、また、あなたの家来ヘテびとウリヤも死にました”。

2サム10:25 ダビデは使者に言った、“あなたはヨアブにこう言いなさい、‘この事で心配することはない。つるぎはこれをも彼をも同じく滅ぼすからである。強く町を攻めて戦い、それを攻め落しなさい’”。そしてヨアブを励ましなさい”。

2サム10:26 ウリヤの妻は夫ウリヤが死んだことを聞いて、夫のために悲しんだ。

2サム10:27 その喪が過ぎた時、ダビデは人をつかわして彼女を自分の家に召し入れた。彼女は彼の妻となって男の子を産んだ。しかしダビデがしたこの事は主を怒らせた。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム12: サムエル記下 第12章

2サム12:1 主はナタンをダビデにつかわされたので、彼はダビデの所にきて言った、“ある町にふたりの人があって、ひとり富み、ひとり貧しかった。

2サム12:2 富んでいる人は非常に多くの羊と牛を持っていたが、

2サム12:3 貧しい人は自分が買った1頭の小さい雌の子羊のほかは何も持っていなかった。彼がそれを育てたので、その小羊は彼および彼の子供たちと共に成長し、彼の食物を食べ、彼のわんから飲み、彼のふところで寝て、彼にとっては娘のようであった。

2サム12:4 時に、ひとりの旅びとが、その富んでいる人のもとにきたが、自分の羊または牛のうちから1頭を取って、自分の所にきた旅びとのために調理することを惜しみ、その貧しい人の小羊を取って、これを自分の所にきた人のために調理した”。

2サム12:5 ダビデはその人の事をひじょうに怒ってナタンに言った、“主は生きておられる。この事をしたその人は史ぬべきである。

2サム12:6 かつその人はこの事をしたため、またあわれまなかったため、その小羊を4倍にして償わなければならない”。

2サム12:7 ナタンはダビデに言った、“あなたがその人です。イスラエルの神、主はこう仰せられる、‘わたしはあなたに油を注いでイスラエルの王とし、あなたをサウルの手から救いだし、

2サム12:8 あなたに主人の家を与え、主人の家を与え、主人の妻たちをあなたのふとこに与え、またイスラエル

とユダの家をあなたに与えた。もし少なかったならば、わたしはもっと多くのものをあなたに増し加えたであろう。

2サム12:9 どうしてあなたは主の言葉を軽んじ、その目の前に悪事をおこなったのですか。あなたはつるぎをもって、ヘテびとウリヤを殺し、その妻をとって自分の妻とした。すなわちアンモンの人々のつるぎをもって彼を殺した。

2サム12:10 あなたがわたしを軽んじてヘテびととウリヤの妻をとり、自分の妻としたので、つるぎはいつまでもあなたの家を離れないであろう’。

2サム12:11 主はこう仰せられる、‘見よ、わたしはあなたの家からあなたの上に災いを起すであろう。わたしはあなたの目の前であなたの妻たちを取って、隣びとに与えるであろう。その人はこの太陽の前で妻たちと一緒に寝るであろう。

2サム12:12 あなたはひそかにそれをしたが、わたしは全イスラエルの前と、太陽の前にこの事をするのである’。

2サム12:13 ダビデはナタンに言った、"わたしは主に罪をおかしました”。ナタンはダビデに言った、"主もまたあなたの罪を除かれました。あなたは死ぬことはないでしょう。

2サム12:14 しかしあなたはこの行いによって大いに主を侮ったので、あなたに生れる子供は必ず死ぬでしょう”。

2サム12:15 こうしてナタンは家に帰った。さて主は、ウリヤの妻がダビデに産んだ子を撃たれたので、病気になった。

2サム12:16 ダビデはその子のために神に嘆願した。すなわちダビデは断食して、へやにはいり終夜地に伏した。

2サム12:17 ダビデの家の長老たちは、彼のかたわらに立って彼を地から起こそうとしたが、彼は起きようとはせず、また彼らと一緒に食事をしなかった。

2サム12:18 7日目にその子は死んだ。ダビデの家来たちはその子が死んだことをダビデに告げるのを恐れた。それは彼らが、"見よ、子のなお生きている間に、われわれが彼に語ったのに彼はその言葉を聞きいれなかった。どうして彼にその子の死んだことを告げることができようか。彼は自ら◆

12,18-1,彼は自らを害するかも知れない”と思ったからである。

2サム12:19 しかしダビデは、家来たちが互にささやき合うのを見て、その子の死んだのを悟り、家来たちに言った、"子は死んだのか”。彼らは言った、"死なれました”。

2サム12:20 そこで、ダビデは地から起き上がり、身を洗い、油をぬり、その着物を替えて、主の家にはいって拝した。そののち自分の家に行き、求めて自分のために食物を供えさせて食べた。

2サム12:21 家来たちは彼に言った、"あなたのなさったこの事はなんでしょうか。あなたは子の生きている間はその子のために断食して泣かれました。しかし子が死ぬと、あなたは起きて食事をなさいました”。

2サム12:22 ダビデは言った、"子の生きている間に、わたしが断食して泣いたのは、‘主がわたしをあわれんで、この子を生かしてくださるかも知れない’”と思ったからです。

2サム12:23 しかし今は死んだので、わたしはどうして断食しなければならないでしょう。わたしは再び彼をかえらせることができますか。わたしは彼の所に行くでしょうが、彼はわたしの所に帰ってこないでしょう”。

2サム12:24 ダビデは妻バテシバを慰め、彼女の所にはいって、彼女と共に寝たので、彼女は男の子を産んだ。ダビデはその名をソロモンと名づけた。主はこれを愛された。

2サム12:25 そして預言者ナタンをつかわし、命じてその名をエデデアと呼ばせられた。

2サム12:26 さてヨアブはアンモンの人々のラバをせめて王の町を取った。

2サム12:27 ヨアブは使者をダビデにつかわして言った、"わたしはラバを攻めて水の町を取りました。

2サム12:28 あなたは今、残りの民を集め、この町に向かって陣をしき、これを取りなさい。わたしがこの町を取って、人がわたしの名をもって、これと呼ぶようにならないためです”。

2サム12:29 そこでダビデは民をことごとく集めてラバへ行き、攻めてこれを取った。

2サム12:30 そしてダビデは彼らの王の冠をその頭から取りはなした。それは金では重さは1タラントであった。宝石がはめてあり、それをダビデの頭に置いた。ダビデはその町からぶんどり物を不浄に多く持ち出した。

2サム12:31 またダビデはそのうちの民を引き出して、彼らをのこぎりや、鉄のつるはし、鉄のおのを使う仕事につかせ、また、れんが造りの労役につかせた。彼はアンモンの人々のすべての町にこのようにした。そしてダビデと民とは皆エルサレムに帰った。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム13: サムエル記下 第13章

2サム13:1 さてダビデの子アブサロムには名をタマルという美しい妹があったが、その後ダビデの子アムノンはこれ

を恋した。

2サム13:2 アムノンには妹タマルのために悩んでついにわずらった。それはタマルが処女であって、アムノンは彼女に何事もするもすることができないと思ったからである。

2サム13:3 ところがアムノンにはひとりの友だちがあった。名をヨナダブといい、ダビデの兄弟シメアの子である。ヨナダブはひじょうに賢い人であった。

2サム13:4 彼はアムノンに言った、“王子よ、あなたは、どうして朝ごとに、そんなにやせ衰えるのですか。わたしに放さないのですか”。アムノンは彼に言った、“わたしは兄弟アブサロムの妹タマルを恋しているのです”。

2サム13:5 ヨナダブは彼に言った、“あなたは病と偽り、寝床に横たわって、あなたの父がきてあなたを見るとき彼に言いなさい、(どうぞ、わたしの妹タマルをこさせ、わたしの所に食物を運ばせてください。そして彼女がわたしの目の前で食物をととのえ、彼女の手からわたしが食べること◆

13,5-1,食べることができるようにさせてください”。

2サム13:6 そこでアムノンは横になって病と偽ったが、王がきて彼を見た時、アムノンは王に言った、“どうぞわたしの妹タマルをこさせ、わたしの目の前で2つの菓子を作らせて、彼女の手からわたしが食べることのできるようにしてください”。

2サム13:7 ダビデはタマルの家の人に人をつかわして言わせた、“あなたの兄アムノンの家へ行って、彼のために食物をととのえなさい”。

2サム13:8 そこでタマルはその兄アムノンの家へ行ったところ、アムノンは寝ていた。タマルは粉を取って、これをこね、彼の目の前で、菓子を造り、その菓子を焼き、

2サム13:9 なべを取って彼の前にそれをあげた。しかし彼は食べることを拒んだ。そしてアムノンは、“みな、わたしを離れて出てください”と言ったので、皆、彼を離れて出た。

2サム13:10 アムノンはタマルに言った、“食物を寝室に持ってきてください。わたしはあなたの手から食べます”。そこでタマルは自分の造った菓子をとって、寝室にはいる兄アムノンの所へ持っていった。

2サム13:11 タマルが彼に食べさせようとして近くに持って行った時、彼はタマルを捕えて彼女に言った、“妹よ、来て、わたしと寝なさい”。

2サム13:12 タマルは言った、“いいえ、兄上よ、わたしをはずかしめてはなりません。このよなことはイスラエルでは行われません。この愚かなことをしてはなりません”。

2サム13:13 わたしの恥をわたしはどこへ持って行くことができます。あなたはイスラエルの愚か者のひとりとなるでしょう。それゆえ、どうぞ王に話してください。王がわたしをあなたに与えないことはないでしょう”。

2サム13:14 しかしアムノンは彼女の言うことを聞こうとせず、タマルよりも強かったので、タマルをはずかしめてこれと共に寝た。

2サム13:15 それからアムノンは、ひじょうに深くタマルを憎むようになった。彼女を憎む憎しみは、彼女を恋した恋よりも大きかった。アムノンは彼女に言った、“立って、行きなさい”。

2サム13:16 タマルはアムノンに言った、“いいえ、兄上よ、わたしを返すことは、あなたがさきにわたしになさった事よりも大きい悪です”。しかしアムノンは彼女の言うことを聞こうとせず、

2サム13:17 彼に仕えている若者を呼んで言った、“この女をわたしの所から外におくり出し、そのあとに戸を閉ざすがよい”。

2サム13:18 この時、タマルは長そでの着物を着ていた。昔、王の姫たちの処女である者はこのような着物を着たからである。アムノンのしもべは彼女を外に出して、そのあとに戸を閉ざした。

2サム13:19 タマルは灰を頭にかぶり、着ていた長そでの着物を裂き、手を頭にのせて、叫びながら去って行った。

2サム13:20 兄アブサロムは彼女に言った、“兄アムノンがあなたと一緒にいたのか。しかし妹よ、今は黙っていなさい。彼はあなたの兄です。この事を心にとめなくてよろしい”。こうしてタマルは兄アブサロムの家にさびしく住んでいた。

2サム13:21 ダビデ王はこれらの事をことごとく聞いてひじょうに怒った。

2サム13:22 アブサロムはアムノンに良いことも悪いことも語ることをしなかった。それはアムノンがアブサロムの妹タマルをはずかしめたので、アブサロムが彼を憎んでいたからである。

2サム13:23 満2年の後、アブサロムはエルサレムの近くにあるバアル・ハズルの羊の毛を切らせていた時、王の子たちをことごとく招いた。

2サム13:24 そしてアブサロムは王のもとにきて言った、“見よ、しもべは羊の毛を切らせております。どうぞ王も王の家来たちも、しもべと共にきてください”。

2サム13:25 王はアブサロムに言った、“いいえ、わが子よ、われわれが皆行つてはならない。あなたの重荷になるといけないから”。アブサロムはダビデにしいて願った。しかしダビデは行くことを承知せず彼に祝福を与えた。

2サム13:26 そこでアブサロムは言った、“それでは、どうぞわたしの兄アムノンをわれわれと共に行かせてください”。王は彼に言った、“どうして彼があなたと共に行かなければならないのか”。

2サム13:27 しかしアブサロムは彼にしいて願ったので、ついにアムノンと王の子たちを皆、アブサロムと共に行かせた。

2サム13:28 そこでアブサロムは若者たちに命じて言った、“アムノンが酒を飲んで、心楽しくなった時を見すまし、わたしがあなたがたに、‘アムノンを撃て’と言う時、彼を殺しなさい。恐れることはない。わたしが命じるのではない。雄々しくしなさい。勇ましくしなさい”。

2サム13:29 アブサロムの若者たちはアブサロムの命じたようにアムノンにおこなったので、王の子たちは皆立って、おのおのその騾馬に乗って逃げた。

2サム13:30 彼らがまだ着かないうちに、“アブサロムは王の子たちをことごとく殺して、ひとりも残っている者がいない”という知らせがダビデに達したので、

2サム13:31 王は立ち、その着物を裂いて、地に伏した。そのかたわらに立っていた家来たちも皆その着物を裂いた。

2サム13:32 しかしダビデの兄弟シメアの子ヨナダブは言った、“わが主よ、王の子たちである若者たちがみな殺されたとお考えになってはなりません。アムノンだけが死んだのです。これは彼がアブサロムの妹タマルをはずかしめた日から、アブサロムの命によって定められていたことなので◆

13,32-1,ことなのです。

2サム13:33 それゆえ、わが主、王よ、王の子たちが皆死んだと思って、この事を心にとめられてはなりません。アムノンだけが死んだのです”。

2サム13:34 アブサロムはのがれた。時に見張りをしていた若者が目をあげて見ると、山のかたわらのホロナイムの道から多くの民の来るのが見えた。

2サム13:35 ヨナダブは王に言った、“見よ、王の子たちがきました。しもべの言ったとおりです”。

2サム13:36 彼が語ることを終わった時、王の子たちはきて声をあげて泣いた。王もその家来たちも皆、非常にはげしく泣いた。

2サム13:37 しかしアブサロムはのがれて、ゲシュルの王アミホデの子タルマイのもとに行った。ダビデは日々その子のために悲しんだ。

2サム13:38 アブサロムはのがれてゲシュルに行き、3年の間そこにいた。

2サム13:39 王は心に、アブサロムに会うことを、せつに望んだ。アムノンは死んでしまい、ダビデが彼のことはあきらめていたからである。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム14: サムエル記下 第14章

2サム14:1 ゼルヤの子ヨアブは王の心がアブサロムに向かっているのを知った。

2サム14:2 そこでヨアブはテコアに人をつかわして、そこからひとりの賢い女を連れてこさせ、その女に言った、“あなたは悲しみのうちにある人をよそおって、喪服を着、油を身に塗らず死んだ人のために長いあいだ悲しんでいる女のように、よそおって、

2サム14:3 王のもとに行き、しかじかと彼に語りなさい”。こうしてヨアブはその言葉を彼女の口に授けた。

2サム14:4 テコアの女は王のもとに行き、地に伏して拝し、“王よ、お助けください”と言った。

2サム14:5 王は女に言った、“どうしたのか”。女は言った、“まことにわたしは寡婦でありまして、夫は死にました。

2サム14:6 つかえめにはふたりの子どもがあり、ふたりは野で争いましたが、だれも彼らを引き分ける者がなかったので、ひとりはずいに他の者を撃って殺しました。

2サム14:7 すると全家族がつかえめに逆らい立って、‘兄弟を打ち殺した者を引き渡すがよい。われわれは彼が殺したその兄弟の命のために彼を殺そう’と言い、彼らは世継ぎをも殺そうとしました。こうして彼らは残っているわたしの炭火を消して、わたしの夫の名をも、跡継ぎをも、地のおも◆

14,7-1,おもてにとどめないようにしようとしています”。

2サム14:8 王は女に言った、“家に帰りなさい。わたしはあなたのことについて命令を下します”。

2サム14:9 テコアの女は王に言った、“わが主、王よ、わたしとわたしの父の家にその罪を帰してください。どうぞ王と王の位には罪がありませんように”。

2サム14:10 王は言った、“もしあなたに何か言う者があれば、わたしの所に連れてきなさい。そうすれば、その人

は重ねてあなたに触れることはないでしょう”。

2サム14:11 女は言った、“どうぞ王が、あなたの神、主をおぼえて、地の報復をする者に重ねて滅ぼすことをさせず、わたしの子の殺されることのないようにしてください”。王は言った、“主は生きておられる。あなたの子の髪の毛一筋も地に落ちることはないでしょう”。

2サム14:12 女は言った、“どうぞ、つかえめにひと言、わが主、王に言わせてください”。ダビデは言った、“言いなさい”。

2サム14:13 女は言った、“あなたはそれならばどうして、神の民に向かってこのような事を測られたのですか。王は今この事を言われたことによって自分を罪ある者とされています。それは王が追放された者を帰らせられないからです”。

2サム14:14 わたしたちはみな死ななければなりません。地にこぼれた水の再び集めることのできないのと同じです。しかし神は、追放された者が捨てられないように、てだてを設ける人の命を取ることはなさいません。

2サム14:15 わたしがこの事を王、わが主に言おうとして来たのはわたしが民を恐れたからです。つかえめは、こう思ったのです、‘王に申し上げよう。王は、はしための願いのようにしてくださるかもしれない’。

2サム14:16 王は聞いてくださる。わたしとわたしの子を共に滅ぼして神の嗣業から離れさせようとする人の手から、はしための救い出してくださるのだから’。

2サム14:17 つかえめはまた、こう思ったのです、‘王、わが主お言葉はわたしを安心させるであろう’と、それは王、わが主は神の使のように善と悪を聞きわけられるからです。どうぞあなたの神、主があなたと共におられますように”。

2サム14:18 王は女に答えて言った、“わたしが問うことに隠さず答えてください”。女は言った、“王、わが主よ、どうぞ言ってください”。

2サム14:19 王は言った、“このすべての事において、ヨアブの手があなたと共にありますか”。女は答えた、“あなたはたしかに生きておられます。王、わが主よ、すべて王、わが主の言われた事から人は右にも左にも曲ることはできません。わたしに命じたのは、あなたのしもべヨアブです。◆

14,19-1,ヨアブです。彼がつかえめに口に、これらの言葉をことごとく授けたのです。

2サム14:20 事のなりゆきを変えるため、あなたのしもべヨアブがこの事をしたのです。わが君には神の使の知恵のような知恵があつて、地の上のすべてのことを知っておられます”。

2サム14:21 そこで王はヨアブに言った、“この事を許す。行って、若者アブサロムを連れ帰るがよい”。

2サム14:22 ヨアブは地にひれ伏して拝し、王を祝福した。そしてヨアブは言った、“わが主、王よ、王がしもべの願いを許されたので、きょうしもべは、あなたの前に恵みを得たことを知りました”。

2サム14:23 そこでヨアブは立ってゲシュルに行き、アブサロムをエルサレムに連れてきた。

2サム14:24 王は言った、“彼を自分の家に引きこもらせるがよい。わたしの顔を見てはならない”。こうしてアブサロムは自分の家に引きこもり、王の顔を見なかった。

2サム14:25 さて全イスラエルのうちにアブサロムのように、美しさのためほめられた人はなかった。その足の裏から頭の頂まで彼には傷がなかった。

2サム14:26 アブサロムがその頭を刈る時、その神の毛をはかったが、王のはかりで2百シケルあつた。毎年の終りにそれを刈るのを常とした。それが重くなると、彼はそれを刈ったのである。

2サム14:27 アブサロムの3人のむすこと、タマルという名のひとりの娘が生れた。タマルは美しい女であつた。

2サム14:28 こうしてアブサロムは満2年の間エルサレムに住んだが、王の顔を見なかった。

2サム14:29 そこでアブサロムはヨアブを王のもとにつかわそうとして、ヨアブの所に人をつかわしたが、ヨアブは彼の所にこようとはしなかった。彼は再び人をつかわしたがヨアブはこようとはしなかった。

2サム14:30 そこでアブサロムはその家来に言った、“ヨアブの畑はわたしの畑の隣にあつて、そこに大麦がある。行ってそれに火を放ちなさい”。アブサロムの家来たちはその畑に火を放った。

2サム14:31 ヨアブは立ってアブサロムの家にきて彼に言った、“どうしてあなたの家来たちはわたしの畑に火を放ったのですか”。

2サム14:32 アブサロムはヨアブに言った、“わたしはあなたに人をつかわして、ここへ来るようにと言ったのです。あなたを王のもとにつかわし、‘なんのためにわたしはゲシュルからきたのですか。なおあそこにはたならば良かったでしょう’と言わせようとしたのです。それゆえ今わたし◆

14,32-1,今わたしの王の顔を見させてください。もしわたしに罪があるなら王にわたしを殺させてください”。

2サム14:33 そこでヨアブは王のもとへ行つて告げたので、王はアブサロムを召しよせた。彼は王のもとにきて、王の前に地にひれ伏して拝した。王はアブサロムに口づけした。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム15: サムエル記下 第15章

2サム15:1 この後、アブサロムは自分のために戦車と馬、および自分の前に駆ける者50人を備えた。

2サム15:2 アブサロムは早く起きて門の道のかたわらに立つのを常とした。人が訴えがあつて王に裁判を求めに來ると、アブサロムはその人を呼んで言った、“あなたはどの町の者ですか”。その人が“しもべはイスラエルのこれこれの部族のものです”と言うと、

2サム15:3 アブサロムはその人に言った、“見よ、あなたの要求は良く、また正しい。しかしあなたのことを聞くべき人は王がまだ立てていない”。

2サム15:4 アブサロムはまた言った、“ああ、わたしがこの地のさばきびとであつたならばよいのに。そうすれば訴え、または申立てのあるものは、皆わたしの所にきて、わたしはこれに公平なさばきを行うことができるのだが”。

2サム15:5 そして人が彼に敬礼しようとして近づくと、彼は手を伸べ、その人を抱きかかえて口づけした。

2サム15:6 アブサロムは王にさばきを求めて来るすべてのイスラエルびとにこのようにした。こうしてアブサロムはイスラエルの人々の心を自分のものとした。

2サム15:7 そして4年の終わりに、アブサロムは王に言った、“どうぞわたしを行かせ、ヘブロンで、かつて主に立てた誓いを果たさせてください”。

2サム15:8 それは、しもべがスリヤのゲシュルにいた時、誓いを立てて、“もし主がほんとうにわたしをエルサレムに連れ帰ってくださるならば、わたしは主に礼拝をささげます”と言ったからです”。

2サム15:9 王が彼に、“安らかに行きなさい”と言ったので、彼は立ってヘブロンへ行った。

2サム15:10 そしてアブサロムは密使をイスラエルのすべての部族のうちにつかわして言った、“ラッパの響きを聞くならば、‘アブサロムがヘブロンで王となった’”と言いなさい”。

2サム15:11 2百人の招かれた者がエルサレムからアブサロムと共に行った。彼らは何心なく行き、何事をも知らなかった。

2サム15:12 アブサロムは犠牲をささげている間に人をつかわして、ダビデの議官ギロビとアヒトペルを、その町ギロから呼び寄せた。徒党は強く、民はしだいにアブサロムに加わった。

2サム15:13 ひとりの使者がダビデのところにて、“イスラエルの人々の心はアブサロムに従いました”。と言った。

2サム15:14 ダビデは、自分と一緒にエルサレムにいるすべての家来に言った、“立て、われわれは逃げよう。そうしなければアブサロムの前からのがれることはできなくなるであろう。急いで行くがよい。さもないと、彼らが急ぎ追いついて、われわれに害をこうむらせ、つるぎをもって町を撃つ”。

15,14-1,町を撃つであろう”。

2サム15:15 王のしもべたちは王に言った、“しもべたちは、わが主君、王の選ばれる所をすべて行きます”。

2サム15:16 こうして王は出て行き、その全家は彼に従った。王は10人のめかけを残して家を守らせた。

2サム15:17 王は出て行き、民はみな彼に従った。彼らは町はずれの家にとどまった。

2サム15:18 彼のしもべたちは皆、彼のかたわらを進み、すべてのケレテびとと、すべてのペレテびと、および彼に従ってガテからきた6百人のガテびとは皆、王の前に進んだ。

2サム15:19 時に王は我手びとイッタイに言った、“どうしてあなたもまた、われわれと共に行くのですか。あなたは帰って王と共にいなさい。あなたは外国人で、また自分の国から追放された者だからです”。

2サム15:20 あなたは、きのう来たばかりです。あなたを、われわれと共にさまよわせてよいでしょう。あなたは帰りなさい。あなたの兄弟たちも連れて帰りなさい。どうぞ主が恵みと真実をあなたに示してくださるように”。

2サム15:21 しかしイッタイは王に答えた、“主は生きておられる。わが君、王は生きておられる。わが君、王のおられる所に、死ぬも生きるも、しもべもまたそこにおります”。

2サム15:22 ダビデはイッタイに言った、“では進んで行きなさい”。そこでガテびとイッタイは進み、また彼のすべての従者および彼と共にいた子どもたちも皆、進んだ。

2サム15:23 國中みな大声で泣いた。民はみな進んだ。王もまたキデロンの谷を渡って進み、民は皆進んで荒野の方に向かった。

2サム15:24 そしてアビヤタルも上ってきた。見よ、ザドクおよび彼と共にいるすべてのレビびともまた、神の契約の箱をかいてきた。彼らは神の箱をおろして、民がことごとく町を出てしまうのを待った。

2サム15:25 そこで王はザドクに言った、“神の箱を町にかきもどすがよい。もしわたしが主の前に恵みを得るならば、主はわたしを連れ帰って、わたしにその箱とそのすまいとを見させてくださるであろう”。

2サム15:26 しかしもし主が、‘わたしはおまえを喜ばない’”とそう言われるのであれば、どうぞ主が良しと思われることをわたしにしてくださるように。わたしはここにおります”。

2サム15:27 王はまた祭司ザドクに言った、“見よ、あなたもアブヤタルも、ふたりの子たち、すなわちあなたの子アヒマズとアビヤタルの子ヨナタンを連れて、安らかに町に帰りなさい。

2サム15:28 わたしはあなたがたから言葉があつて知らせをうけるまで、荒野の渡し場にとどまります”。

2サム15:29 そこでザドクとアビヤタルは神の箱をエルサレムにかきもどり、そこにとどまった。

2サム15:30 ダビデはオリブ山の坂道を登ったが、登る時に泣き、その頭をおおい、はだしで行った。彼と共にいる民もみな頭をおおって登り、泣きながら登った。

2サム15:31 時に、“アヒトペルがアブサロムと共謀した者のうちにいる”とダビデに告げる人があったのでダビデは言った、“主よ、どうぞアヒトペルの計略を愚かなものにしてください”。

2サム15:32 ダビデは山の頂にある神を礼拝する場所にきた時、見よ、アルキびとホシャイはその上着を裂き、頭に土をかぶり、来てダビデを迎えた。

2サム15:33 ダビデは彼に言った、“もしあなたがわついと共に進ならば、わたしの重荷となるであろう。

2サム15:34 しかしもしあなたが町に帰ってアブサロムに向かい、‘王よ、わたしはあなたのしもべとなります。わたしがこれまで、あなたの父のしもべであったように、わたしは今あなたのしもべとなります’と言うならば、あなたはわたしのためにアヒトペルの計略を破ることができるであろう◆

15,34-1,あろう。

2サム15:35 祭司たち、ザドクとアビヤタルとは、あなたと共にあそこにいるではないか。それゆえ、あなたは王の家から聞くことをことごとく祭司たち、ザドクとアビヤタルとに告げなさい。

2サム15:36 あそこには彼らと共にそのふたりの子たち、すなわちザドクの子アヒマズとアビヤタリの子ヨナタンとがいる。あなたがたは来いたことをことごとく彼らの手によってわたしに通報しなさい”。

2サム15:37 そこでダビデの共ホシャイは町にはいった。その時アブサロムはすでにエルサレムにはいつていた。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム16: サムエル記下 第16章

2サム16:1 ダビデが山の頂を過ぎて、すこし行った時、メボセテのしもべヂバは、くらを置いた2頭のろばを引き、その上にパン2百個、ぶどう1百ふさ、夏のくだもの1百、ぶどう酒1袋を載せてきてダビデを迎えた。

2サム16:2 王はヂバに言った、“あなたはどのようにこれらのものを持ってきたのですか”。ヂバは答えた、“ろばは王の家族が乗るため、パンと夏のくだものは若者たちが食べるため、ぶどう酒は荒野で弱った者が飲むためです”。

2サム16:3 王は言った、“あなたの主人の個はどこにおるのですか”。ヂバは王に言った、“エルサレムにとどまっています。彼は、‘イスラエルの家はきょう、わたしの父の国をわたしに返すであろう’と思ったのです”。

2サム16:4 王はヂバに言った、“見よ、メボセテのものはことごとくあなたのものです”。ヂバは言った、“わたしは敬意を表します。わが主、王よ、あなたの前にいつまでも恵みを得させてください”。

2サム16:5 ダビデ王がバホルムにきた時、サウルの家の一族の者がひとりそこから出てきた。その名をシメイといい、ゲラの子である。彼は出てきながら絶えずのろった。

2サム16:6 そして彼はダビデとダビデ王のもろもろの家来に向かって石を投げた。その時、民と勇士たちはみな王の左右にいた。

2サム16:7 シメイはのろう時にこう言った、“血を流す人よ、よこしまな人よ、立ち去れ、立ち去れ。

2サム16:8 あなたが代って王となったサウルの家の血をすべて主があなたに報いられたのだ。主は王国をあなたの子アブサロムのてに渡された。見よ、あなたは血を流す人だから、災に会うのだ”。

2サム16:9 時にゼルヤの子アビシャイは王に言った、“この死んだ犬がどうしてわが主、王をのろってよかろうか。わたしに、行って彼の首を取らせてください”。

2サム16:10 しかし王は言った、“ゼルヤの子たちよ、あなたがたと、なんのかわりがあるのか。彼がのろうのは、主が彼に、‘ダビデをのろえ’と言われたからであるならば、だれが、‘あなたはどのようにこういうことをするのか’と言ってよいであろうか”。

2サム16:11 ダビデはまたアビシャイと自分のすべての家来とに言った、“わたしの身から出たわが子がわたしの命を求めている。今、このベニヤミンびととしてはなおさらだ。彼を許してのろわせておきなさい。主が彼に命じられたのだ。

2サム16:12 主はわたしの悩みを顧みてくださるかもしれない。また主はきょう彼ののろいにかえて、わたしに善を報いてくださるかも知れない”。

2サム16:13 こうしてダビデとその従者たちとは道を行ったが、シメイはダビデに並んで向かいの山の中腹を行き、

行きながらのろい、また彼に向かって石や、ちりを投げつけた。

2サム16:14 王および共にいる民はみな疲れてヨルダンに着き、彼はその所で息をついだ。

2サム16:15 さてアブサロムとすべての民、イスラエルの人々はエルサレムにきた。アヒトベルもアブサロムと共にいた。

2サム16:16 ダビデの友であるアルキびとホシャイがアブサロムのもとにきた時、ホシャイはアブサロムに“王万歳、王万歳”と言った。

2サム16:17 アブサロムはホシャイに言った、“これはあなたがその友に示す真実なのか。あなたはどのようにあなたの友と一緒に行かなかったのか”。

2サム16:18 ホシャイはアブサロムに言った、“いいえ、主とこの民とイスラエルのすべての人々が選んだ者にわたしは属し、かつその人と一緒におります”。

2サム16:19 かつまたわたしはだれに仕えるべきですか。その子の前に仕えるべきではありませんか。あなたの父の前に仕えたように、わたしはあなたの前に仕えます”。

2サム16:20 そこでアブサロムはアヒトベルに言った、“あなたがたは、われわれがどうしたらよいのか、計りごとを述べなさい”。

2サム16:21 アヒトベルはアブサロムに言った、“あなたの父が家を守るために残された、めかけたちの所にはいりなさい。そうすればイスラエルは皆あなたが父上に憎まれることを聞くでしょう。そしてあなたと一緒にいる者のては強くなるでしょう”。

2サム16:22 こうして彼がアブサロムのために屋上に天幕を張ったので、アブサロムは全イスラエルの目の前で父のめかけたちの所にはいった。

2サム16:23 そのころアヒトベルが授ける計りごとは人が神のみ告げを伺うようであった。アヒトベルの計りごとは皆ダビデにもアブサロムにも友にそのように思われた。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム17: サムエル記下 第17章

2サム17:1 時にアヒトベルはアブサロムに言った、“わたしに1万2千の人を選び出させてください。わたしは立って、今夜ダビデのあとを追ひ、

2サム17:2 彼が疲れて手が弱くなっているところを襲って、彼をあわてさせましょう。そして彼と共にいる民がみな逃げるとき、わたしは王ひとりを撃ち取り、

2サム17:3 すべての民を花嫁がその夫のもとに帰るようにあなたに帰らせましょう。あなたが求めておられるのはただひとりの命ですから、民はみな穏やかになるでしょう”。

2サム17:4 この言葉はアブサロムとイスラエルのすべての長老の心にかなった。

2サム17:5 そこでアブサロムに言った、“アルキびとホシャイをも呼びよせなさい。われわれは彼の言うことを聞きましょう”。

2サム17:6 ホシャイがアブサロムのもとにきた時、アブサロムは彼に言った、“アヒトベルはこのように言った。われわれは彼の言葉のように行うべきか。いけないのであれば、言いなさい”。

2サム17:7 ホシャイはアブサロムに言った、“このたびアヒトベルが授けた計りごとは良くありません”。

2サム17:8 ホシャイはまた言った、“ごぞんじのように、あなたの父とその従者たちとは勇士です。その上彼らは、野で子を奪われた熊のように、ひどく怒っています。また、あなたの父はいくさびとですから、民と友に宿らないでしょう”。

2サム17:9 彼は今でも穴の中か、どこかほかの所にかくれています。もし民のうちの幾人かが手始めに倒れるならば、それを聞く者はだれでも、‘アブサロムに従う民のうちに戦死者があった’と言うでしょう”。

2サム17:10 そうすれば、ししの心のような心のある勇ましい人であっても、恐れて消え去ってしまうでしょう。それはイスラエルのすべての人が、あなたの父の勇士であること、また彼と共にいる者が、勇ましい人々であることを知っているからです”。

2サム17:11 ところでわたしの計りごとは、イスラエルをダンからベエルシバまで、海べの砂のように多くあなたのもとに集めて、あなたみずから戦いに臨むことです”。

2サム17:12 こうしてわれわれは彼の見つかる場所で彼を襲い、つゆが地におりるように彼の上を下る。そして彼および彼と共にいるすべての人を一人も残さないでしょう”。

2サム17:13 もし彼がいずれかの町に退くならば、全イスラエルはその町になわをかけ、われわれはそれを谷に引

き倒して、そこに1つの小石も見られないようにするでしょう”。

2サム17:14 アブサロムとイスラエルの人々はみな、“アルキビとホシャイの計りごとは、アヒトベルの計りごとよりもよい”と言った。それは主がアブサロムに災いを下そうとして、アヒトベルの良い計りごとを破ることを定められたからである。

2サム17:15 そこでホシャイは祭司たち、ザドクとアビヤタルとに言った、“アヒトベルはアブサロムとイスラエルの長老たちのためにこういう計りごとをした。またわたしはこういう計りごとをした。

2サム17:16 それゆえ、あなたがたはすみやかに人をつかわしてダビデに告げ、‘今夜、荒野の渡し場に宿らないで、必ず渡って行きなさい。さもないと王および共にいる民はみな、滅ぼされるでしょう’と言いなさい”。

2サム17:17 時に、ヨナタンとアヒマアズはエンロゲルで待っていた。ひとりのつかえめが行って彼らに告げ、彼らは行ってダビデ王に告げるのが常であった。それは彼らが町にはいるのを見られないようにするためである。

2サム17:18 ところがひとりの若者が彼らを見てアブサロムに告げたので、彼らふたりは急いで去り、バホルムの、あるひとりの人の家に来た。その人の庭に井戸があって、彼らはその中に下ったので、

2サム17:19 女はおおいを取ってきて井戸の口の上にひろげ、麦をその上にまき散らした。それゆえその事は何も知れなかった。

2サム17:20 アブサロムのしもべたちはその女の家に来て言った、“アヒマアズとヨナタンはどこにいますか”。女は彼らに言った、“あの人々は小川を渡って行きました”。彼らは尋ねたが見当らなかったのでエルサレムに帰った。

2サム17:21 彼らが去った後、人々は井戸から上り、行ってダビデ王に告げた。すなわち彼らはダビデに言った、“立ってすみやかに川を渡なさい。アヒトベルがあなたがたに対してこういう計りごとをしたからです”。

2サム17:22 そこでダビデは立って、共にいるすべての民と一緒にヨルダンを渡った。夜明けには、ヨルダンを渡らない者はひとりもなかった。

2サム17:23 アヒトベルは、自分の計りごとが行われぬのを見て、ろばにくらを置き、立って自分の町に行き、その家に帰った。そして家の人に遺言してみずからくびれて死に、その父の計に葬られた。

2サム17:24 ダビデはマハナインにきた。またアブサロムは自分と共にいるイスラエルのすべての人々と一緒にヨルダンを渡った。

2サム17:25 アブサロムはアマサをヨアブの代りに軍の長とした。アマサはかのナハシの娘でヨアブの母ゼルヤの妹であるアビガルをめぐらしたイシマエルびと、名はイトラという人の子である。

2サム17:26 そしてイスラエルとアブサロムはギレアデの地に陣取った。

2サム17:27 ダビデがマハナインにきた時アンモンの人々のうちのラバのナハシの子ショビと、ロデバルのアンミエルの子マラル、およびロゲリムのギレアデびとバルジライは、

2サム17:28 寝床と鉢、土器、小麦、大麦、粉、いり麦、豆、レンズ豆、

2サム17:29 蜜、凝乳、羊、乾酪をダビデおよび共にいる民が食べるために持ってきた。それは彼らが、“民は荒野で飢え疲れかわいている”と思ったからである。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム18: サムエル記下 第18章

2サム18:1 さてダビデは自分と共にいる民を調べて、その上千人の長、百人の長を立てた。

2サム18:2 そしてダビデは民をつかわし、3分の1をヨアブの手に、3分の1をゼルヤの子ヨアブの兄弟アビシャイの手に、3分の1をガテびととイッタイの手にあずけた。こうして王は民に言った、“わたしもまた必ずあなたがたと一緒に出ます”。

2サム18:3 しかし民は言った、“あなたは出てはなりません。それはわれわれがどんなに逃げても、彼らはわれわれに心をとめず、われわれの半ばが死んでも、われわれに心をとめないからです。しかしあなたはわれわれの1万に＝のです。それゆえあなたは町の中からわれわれを助けてください◆

18,3-1,助けてくださる方がよしい”。

2サム18:4 王は彼らに言った、“あなたがたの最も良いと思うことをわたしはしましょう”。こうして王は門のかたわらに立ち、民は皆あるいは百人、あるいは千人となって出て行った。

2サム18:5 王はヨアブ、アビシャイおよびイッタイに命じて、“わたしのため、若者アブサロムをおだやかに扱うように”と言った。王がアブサロムの事についてすべての長たちに命じている時、民は皆聞いていた。

2サム18:6 こうして民はイスラエルに向かって野に出て行き、エフライムの森で戦ったが、

2サム18:7 イスラエルの民はその所でダビデの家来たちの前に敗れた。その日その所に戦死者が多く、2万に及

んだ。

2サム18:8 そして戦いはあまねくその地におもてに広がった。この日、森の滅ぼした者は、つるぎの滅ぼした者よりも多かった。

2サム18:9 さてアブサロムはダビデの家来たちに行き会った。その時アブサロムは騾馬は大きいかしの木の、茂った枝の下を通ったので、アブサロムの頭がそのかしの木にかかって、彼は天地の間につりさがった。騾馬は彼を捨てて過ぎて行った。

2サム18:10 ひとりの人がそれを見てヨアブに告げてわたしはアブサロムが、かしの木にかかっているのを見ました”。

2サム18:11 ヨアブはそれを告げた人に言った、“あなたはそれを見たというのか。それなら、どうしてあなたは彼をその所で、地に撃ち落とさなかったのか。わたしはあなたに銀10シケルと帯一筋を与えたであろうに”。

2サム18:12 その人はヨアブに言った、“たといわたしの手に銀千シケルを受けても、手を出して王の子に敵することはありません。王はわれわれが聞いているところで、あなたとアビシャイとイッタいに、わたしのため若者アブサロムを保護せよと命じられたからです。

2サム18:13 もしわたしがそむいて彼の命をそこなったのであれば、何事も王に隠れることはありませんから、あなたはみずから立ってわたしを責められたでしょう”。

2サム18:14 そこで、ヨアブは“こうしてあなたと共にとどまってはおられない”と言って、手に3筋の投げやりを取り、あのかしの木にかかって、なお生きているアブサロムの心臓にこれを突き通した。

2サム18:15 ヨアブの武器を執る10人の若者たちは取り巻いて、アブサロムを撃ち殺した。

2サム18:16 こうしてヨアブがラッパを吹いたので、民はイスラエルのあとを追うことをやめて帰った。ヨアブが民を引きとめたからである。

2サム18:17 人々はアブサロムを取って、森の中の大きな穴に投げいれ、その上にひじょうに大きい石塚を積み上げた。そしてイスラエルはみなおのおのその天幕に逃げ帰った。

2サム18:18 さてアブサロムは生きている間に、王の谷に自分のために1つの柱を建てた。それは彼が、“わたしは自分の名を伝える子がない”と思ったからである。彼はその柱に自分の名をつけた。その柱は今日までアブサロムの碑となえられている。

2サム18:19 さてザドクの子アヒマアズは言った、“わたしは走って行って、主が追うを敵の手から救い出されたおとずれを王に伝えましょう”。

2サム18:20 ヨアブは彼に言った、“きょうは、おとずれを伝えてはならない。おとずれを伝えるおは、ほかの碑にしなさい。きょうは王の子が死んだので、おとずれを伝えてはならない”。

2サム18:21 ヨアブはクシびとに言った、“行って、あなたの見た事を王に告げなさい”。クシびとはヨアブに礼をして走って行った。

2サム18:22 ザドクの子アヒマアズは重ねてヨアブに言った、“何事であろうとも、わたしにもクシびとのあとから走って行かせてください”。ヨアブは言った、“子よ、おとずれの報いを得られないのに、どうしてあなたは走って行こうとするのか”。

2サム18:23 彼は言った、“何事であろうとも、わたしは走って行きます”。ヨアブは彼に言った、“走って行きなさい”。そこでアヒマアズは低地の道を走って行き、クシびとを追い越した。

2サム18:24 時にダビデは2つの門の間にすわっていた。そして見張りの者が城壁の門の屋根にのぼり、目をあげて見ていると、ただひとりで走ってくる者があった。

2サム18:25 見張りの者が呼ばわって王に告げたので、王は言った、“もしひとりならば、その口におとずれがあるであろう”。その人は急いできて近づいた。

2サム18:26 見張りの者は、ほかにまたひとり走ってくるのを見たので、門の方に呼ばわって言った、“見よ、ほかにただひとりで走ってくる者があります”。王は言った、“彼もまたおとずれを持ってくるのだ”。

2サム18:27 見張りの者は言った、“まっ先に走って来る人はザドクの子アヒマアズのようです”。王は言った、“彼は良い人だ。良いおとずれを持ってくるであろう”。

2サム18:28 時にアヒマアズは呼ばわって王に言った、“平安でいられますように”。そして王の前に地にひれ伏して言った、“あなたの神、主はほむべきかな。主は王、わが君に敵して手をあげた人々を引き渡されました”。

2サム18:29 王は言った、“若者アブサロムは平安ですか”。アヒマアズは答えた、“ヨアブがしもべをつかわす時、わたしは大きな騒ぎを見ましたが、何事であったか知りません”。

2サム18:30 王は言った、“わきへ行って、そこに立っていなさい”。彼はわきへ行って立った。

2サム18:31 その時クシびとがきた。そしてそのクシびとは言った、“わが君、王が良いおとずれをお受けくださるよう。主はきょう、すべてあなたに敵して立った者どもの手から、あなたを救い出されたのです”。

2サム18:32 王はクシびとに言った、“若者アブサロムは平安ですか”。クシびとは答えた、“王、わが君の敵、およ

びすべてあなたに敵して立ち、害をしようとする者は、あの若者のようになりますように”。

2サム18:33 王はひじょうに悲しみ、門の上のへやに上って泣いた。彼は生名柄このように言った、“わが子アブサロムよ。わが子、わが子アブサロムよ。ああ、わたしが代って死ねばよかったのに。アブサロム、わが子よ、わが子よ”。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム19: サムエル記下 第19章

2サム19:1 時にヨアブに告げる者があって、“見よ、王はアブサロムのために泣きかなしんでいる”と言った。

2サム19:2 こうしてその日の勝利はすべての民の悲しみとなった。それはその日、民が、“王はその子のために悲しんでいる”と人の言うのを聞いたからである。

2サム19:3 そして民はその日、戦いに逃げて恥じている民がひそかに、はいるように、ひそかに町にはいった。

2サム19:4 王は顔をおおった。そして王は大声に叫んで、“わが子アブサロムよ。アブサロム、わが子よ、わが子よ”と言った。

2サム19:5 時にヨアブは家にはいり、王のもとにきて言った、“あなたは、きょう、あなたの命と、あなたの息子娘たちの命、およびあなたの妻たちの命と、めかけたちの命を救ったすべての家来の顔をはずかしめられました。

2サム19:6 それはあなたが自分を憎む者を愛し、自分を愛する者を憎まれるからです。あなたは、きょう、軍の長たちをも、しもべたちをも顧みないことを示されました。きょう、わたしは知りました。もし、アブサロムが生きていて、われわれが皆きょう死んでいたら、あなたの目にかなった◆

19,6-1,かなったでしょう。

2サム19:7 今立って行って、しもべたちにねんごろに語ってください。わたしは主をさして誓います。もしあなたが出られないならば、今夜あなたと共にとどまる者はひとりもないでしょう。これはあなたが若い時から今までにこうむられたすべての災いよりも、あなたにとって悪いでしょう”◆

19,7-1,しょう”。

2サム19:8 そこで王は立って門のうちの座についた。人々はすべての民に、“見よ、王は門に座している”と告げたので、民はみな王の前きた。さてイスラエルはおのおのその天幕に逃げ帰った。

2サム19:9 そしてイスラエルのもろもろの部族の中出民はみな争って言った、“王はわれわれを敵のてから救いだし、またわれわれをペリシテびとの手から助け出された。しかし今はアブサロムのために国のそとに逃げておられる。

2サム19:10 またわれわれが油を注いで、われわれの上に立てたアブサロムは戦いで死んだ。それであるのに、どうしてあなたがたは王を導きかえることについて、何をも言わないのか”。

2サム19:11 ダビデ王は祭司たちザドクとアビヤタルとに人をつかわして言った、“ユダの長老たちに言いなさい、’全イスラエルの言葉が王に達したのに、どうしてあなたがたは王をその家に導きかえる最後の者となるのですか。

2サム19:12 あなたがたはわたしの兄弟、わたしの骨肉です。それにどうして王を導きかえる最後の者となるのですか’。

2サム19:13 またアマサに言いなさい、’あなたはわたしの骨肉ではありませんか。これから後あなたをヨアブに代えて、わたしの軍の長とします。もしそうしないときは、神が幾重にもわたしを罰してくださるように”。

2サム19:14 こうしてダビデはユダのすべての人の心を、ひとりのように自分に傾けさせたので、彼らは王に、“どうぞあなたも、すべての家来たちも帰ってきてください”と言っておくった。

2サム19:15 そこで王は帰ってきてヨルダンまで来ると、ユダの人々は王を迎えるためギルガルにきて、王にヨルダンを渡らせた。

2サム19:16 バホルムのベニヤミンびと、ゲラの子シメイは、急いでユダの人々と共に下ってきて、ダビデ王を迎えた。

2サム19:17 1千人のベニヤミンびとが彼と共にいた。またサウルの家のしもべズバもその15人のむすこと、20人のしもべを従えて、王の前にヨルダンに駆け下った。

2サム19:18 そして王の家族を渡し、王の心にかなうことをしようと渡し場を渡った。ゲラの子シメイはヨルダンを渡ろうとする時、王の前にひれ伏し、

2サム19:19 王に言った、“どうぞわが君が、罪をわたしに帰しられないように。またわが君、王のエルサレムを出られた日に、しもべがおこなった悪い事を思い出されないように。どうぞ王がそれを心に留められないように。

2サム19:20 しもべは自分が罪を犯したことを知っています。それゆえ、見よ、わたしはきょう、ヨセフの全家のまっ

先に下ってきて、わが主、王を迎えるのです”。

2サム19:21 ゼルヤの子アビシャイは答えて言った、“シメイは主が油を注がれた者をのろったので、そのために殺されるべきではありませんか”。

2サム19:22 ダビデは言った、“あなたがたゼルヤの子たちよ、あなたがたとなにのかかわりがあって、あなたがたはきょうわたしに敵対するのか。きょう、イスラエルのうちで人を殺して良からうか。わたしが、きょうイスラエルの王となったことを、どうして自分で知らないことがあろうか”◆

19,22-1,あろうか”。

2サム19:23 こうして王はシメイに、“あなたを殺さない”と行って、王は彼に誓った。

2サム19:24 サウルの子メビボセテは下ってきて王を迎えた。彼は王が去った日から安らかに帰る日まで、その足を飾らず、そのひげを整えず、またその着物を洗わなかった。

2サム19:25 彼がエルサレムからきて王を迎えた時、王は彼に言った、“メビボセテよ、あなたはどのようにわたしと共に行かなかったのか”。

2サム19:26 彼は答えた、“わが主、王よ、わたしの家来がわたしを欺いたのです。しもべは彼に、‘わたしのために、ろばにくらを置け。わたしはそれに乗って王と共に行く’と言ったのです。しもべは足なえだからです。

2サム19:27 ところが彼はしもべのことをわが主、王の前に、あしざまに言ったのです。しかし、わが主、王は神の使のようでいられます。それで、あなたの良いと思われることをしてください。

2サム19:28 わたしの父の全家はわが主、王の前にはみな死んだ人にすぎないのに、あなたはしもべを、あなたの食卓で食事をする人々のうちに置かれました。わたしになんの権利があって、重ねて王に訴えることができません”。

2サム19:29 王は彼に言った、“あなたはどのようになおも自分のことを言うのですか。わたしは決めました。あなたとデバとはその土地を分けなさい”。

2サム19:30 メビボセテは王に言った、“わが主、王を安らかに家に代えられたのですから、彼にそれをみな取らせてください”。

2サム19:31 さてギレアデびとバルジライはロゲリムから下ってきて、ヨルダンで王を見送るため、王と共にヨルダンに進んだ。

2サム19:32 バルジライは、ひじょうに年老いた人で80歳であった。彼はまた、ひじょうに裕福な人であったので、王がマハナインにとどまっている間、王を養った。

2サム19:33 王はバルジライに言った、“わたしと一緒に渡って行きなさい。わたしはエルサレムであなたをわたしと共におらせて養いましょう”。

2サム19:34 バルジライは王に言った、“わたしは、なお何年いきながらえるので、王と共にエルサレムに上るのですか”。

2サム19:35 わたしは今日80歳です。わたしに、良いこと悪いことがわきまえられるでしょうか。しもべは食べるもの、飲むものを味わうことができますでしょうか。わたしは歌う男や歌う女の声はまだ聞くことができますでしょうか。それであるのに、しもべはどのようになおわが主、王のおもにとま◆

19,35-1,おもにとまよるのでしょうか”。

2サム19:36 しもべは王と共にヨルダンを渡って、ただ少し行きましょう。どうして王はこのような報いをわたしに報いられなければならないのでしょうか”。

2サム19:37 どうぞしもべを帰らせてください。わたしは自分の町で、父母の墓の近くで死にます。ただし、あなたのしもベキムハムがここにおります。わが主、王と共に彼を渡って行かせてください。またあなたが良いと思われる事を彼にしてください”。

2サム19:38 王は答えた、“キムハムはわたしと共に渡って行かせます。わたしは、あなたが良いと思われる事を彼にしましょう。またあなたが望まれることはみな、あなたのためにいたします”。

2サム19:39 こうして民はみなヨルダンを渡った。王は渡った時、バルジライは口づけして、祝福したので、彼は自分の家に帰っていった。

2サム19:40 王はギルガルに進んだ。キムハムも彼と共に進んだ。ユダの民はみな王を送り、イスラエルの民の半ばもまたそうした。

2サム19:41 さてイスラエルの人々はみな王の所にきて、王に言った、“われわれの兄弟であるユダの人々は、何ゆえにあなたを盗み去って、王とその家族、およびダビデに伴っているすべての従者にヨルダンを渡らせたのですか”。

2サム19:42 ユダの人々はみなイスラエルの人々に答えた、“王はわれわれの近親だからです。あなたがたはどうしてこの事で怒られるのですか。われわれが少しでも王の者を食べたことがありますか。王が何か賜をわれわれに与えたことがありますか”。

2サム19:43 イスラエルの人々はユダの人々に答えた、“われわれは王のうちに10の分を持っています。またダビデのうちにわれわれはあなたがたよりも多くを持っています。それであるのに、どうしてあなたはわれわれを軽んじたのですか。われらの王を導き帰ろうと最初に言ったのはわれ◆

19,43-1,われわれではないのですか”。しかしユダの人々の言葉はイスラエルの人々の言葉よりも激しかった。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム20: サムエル記下 第20章

2サム20:1 さて、その所にひとりのよこしまな人があって、名をシバといった。ビクリの子で、ベニヤミンびとであった。彼はラッパを吹いて言った、“われわれはダビデのうちに分がない。またエッサイの子のうちに嗣業を持たない。イスラエルよ、おのおのその天幕に帰りなさい”。

2サム20:2 そこでイスラエルの人々は皆ダビデに従う事をやめて、ビクリの子シバに従った。しかしユダの人々はその王につき従って、ヨルダンからエルサレムへ行った。

2サム20:3 ダビデはエルサレムの自分の家にきた。そして王は家を守るために残しておいた10人のめかけたちを取って、1つの家に入れて守り、また養ったが、彼女たちの所には、はいらなかった。彼女たちは死ぬ日まで閉じ込められ一生、寡婦としてすごした。

2サム20:4 王はアマサに言った“わたしのため3日のうちにユダの人々を呼び集めて、ここにきなさい”。

2サム20:5 アマサはユダを呼び集めるために行ったが、彼は定められた時よりもおくれた。

2サム20:6 ダビデはアビシャイに言った、“ビクリの子シバは今われわれにアブサロムよりも多くの害をするであろう。あなたの主君の家来たちを率いて、彼のあとを追いなさい。さもないと彼は堅固な町々を獲て、われわれを悩ますであろう”。

2サム20:7 こうしてヨアブとゲレテびととペレテびと、およびすべての勇士はアビシャイに従って出た。すなわち彼らはエルサレムを出て、ビクリの子シバのあとを追った。

2サム20:8 彼らがギベオンにある大石のところにいた時、アマサがきて彼らに会った。時にヨアブは軍服を着て、帯をしめ、その上にさやに納めたつるぎを腰に結んで帯びていたが、彼が進み出た時つるぎは抜け落ちた。

2サム20:9 ヨアブはアマサに、“兄弟よ、あなたは安らかですか”と行って、ヨアブは右の手をもってアマサのひげを捕えて彼に口づけしようとしたが、

2サム20:10 アマサはヨアブの手につるぎがあることに気づかなかったので、ヨアブはそれをもってアマサの腹部を刺して、そのはらわたを地に流し出し、重ねて撃つこともなく彼を殺した。こうしてヨアブとその兄弟アビシャイはビクリの子シバのあとを追った。

2サム20:11 時にヨアブの若者のひとりがアマサのかたわらに立って言った、“ヨアブに見方する者、ダビデにつく者はヨアブのあとに従いなさい”。

2サム20:12 アマサは血に染んで大路の中にころがっていたので、そのそばに来る者はみな彼を見て立ちどまった。この人は民がみな立ちどまるのを見て、アマサを大路から畑に移し、衣服をその上にかけた。

2サム20:13 アマサが大路から移されたので、民は皆ヨアブに従って進み、ビクリの子シバのあとを追った。

2サム20:14 シバはイスラエルのすべての部族のうちを通してベテマアカのアベルにきた。ビクリびとは皆、集まってきて彼に従った。

2サム20:15 そこでヨアブと共にいたすべての人々がきて、彼をベテマアカのアベルに囲み、町に向かって土塁を築いた。それはとりでに向かって立てられた。こうして彼らは城壁をくずそうとしてこれを撃った。

2サム20:16 その時、ひとりの賢い女が町から呼ばわった。“あなたがたは聞きなさい。あなたがたは聞きなさい。ヨアブに、‘ここにきてください。わたしはあなたに言うことがあります’”とってください”。

2サム20:17 彼がその女に近寄ると、女は“あなたがヨアブですか”と言った。彼は“そうです”と答えた。すると女は彼に“はしための言葉をお聞きください”と言ったので、“聞きましょう”と彼は言った。

2サム20:18 そこで女は言った、“昔、人々はいつも、‘アベルで尋ねなさい’と言って、事を決めました。

2サム20:19 わたしはイスラエルのうちの平和な、忠誠な者です。そうであるのに、あなたはイスラエルのうちで母ともいうべき町を滅ぼそうとしておられます。どうして主の嗣業を、のみ尽そうとされるのですか”。

2サム20:20 ヨアブは答えた、“いいえ、決してそうではなく、わたしが、のみ尽したり、滅ぼしたりすることはありません。

2サム20:21 事実はそうではなく、エフライムの山地の人ビクリの子、名をシバという者が手をあげて王ダビデにそむいたのです。あなたがたが彼ひとりを渡すならば、わたしはこの町を去ります”。女はヨアブに言った、“彼の首は

城壁の上からあなたのとkrohe投げられるでしょう”。

2サム20:22 こうしてこの女が知恵をもって、すべての民の所に行ったので、彼らはビクリの子シバの首をはねてヨアブの所へ投げ出した。そこでヨアブはラッパを吹きならしたので、人々は散って町を去り、おのおのの家に帰った。ヨアブはエルサレムにいる王のもとに帰った。

2サム20:23 ヨアブはイスラエルの全軍の長であった。エホヤダの子ベナヤはクレテびと、およびペレテびとの長、

2サム20:24 アDRAMは徴募人の長、アヒルデの子ヨシャパテは史官、

2サム20:25 シワは書記官、ザドクとアビヤタルとは祭司。

2サム20:26 またヤイルびとイラはダビデの祭司であった。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム21: サムエル記下 第21章

2サム21:1 ダビデの世に、年また年と3年、ききんがあったので、ダビデが主に尋ねたところ、主は言われた、“サウルとその家とに、血を流した罪がある。それはかつて彼がギベオンびとを殺したためである”。

2サム21:2 そこで王はギベオンびとを召しよせた。ギベオンびとはイスラエルの子孫ではなく、アモリびとの残りであって、イスラエルの人々は彼らと誓いを立てて、その命を助けた。ところがサウルはイスラエルとユダの人々のために熱心であったので、彼らを殺そうとしたのである。

2サム21:3 それでダビデはギベオンびとに言った、“わたしはあなたがたのために、何をすればよいのですか。どうん償いをすれば、あなたがたは主の嗣業を祝福するのですか”。

2サム21:4 ギベオンびとは彼に言った、“これはわれわれと、サウルまたはその家との間の金銀の問題ではありません。またイスラエルのうちのひとりでも、われわれが殺そうというのでもありません”。ダビデは言った、“わたしがあなたがたのために何をすればよいと言うのですか”。

2サム21:5 かれらは王に言った、“われわれを滅ぼした人、われわれを滅ぼしてイスラエルの領域のどこにもおらせないようにと、たくらんだ人、

2サム21:6 その人の子孫7人を引き渡してください。われわれは主の山にあるギベオンで、彼らを主の前に木にかけましょう”。王は言った、“引き渡しましょう”。

2サム21:7 しかし王はサウルの子であるメピボセテを惜しんだ。彼らの間、すなわちダビデとサウルの子ヨナタンとの間に、主をさして立てた誓いがあったからである。

2サム21:8 王はアヤの娘リヅパがサウルに産んだふたりの子アルモニとメピボセテ、およびサウルの娘メラブがメラビとバルジライの子アデリエルに産んだ5人の子を取って、

2サム21:9 彼らをギベオンびとの手に引き渡したので、ギベオンびとは彼らを山で主の前に木にかけた。彼ら7人は共に倒れた。彼らは刈り入れの初めの日、すなわち大麦刈りの初めに殺された。

2サム21:10 アヤの娘リヅパは荒布をとって、それを自分のために岩の上に敷き、刈り入れの初めから、その人々の死体の上に天から雨が降るまで、昼は空の取りが死体の上にこないようにし、夜は野の獣を近寄せなかった。

2サム21:11 アヤの娘でサウルのめかけであったリヅパのしたことがダビデに聞こえたので、

2サム21:12 ダビデは行ってサウルの骨とその子ヨナタンの褒めを、ヤベシギレアデの人々の所から取ってきた。これはペリシテびとがサウルをギルボアで殺した日に、木にかけたべてしゃんの広場から、彼らが盗んでいたものである。

2サム21:13 ダビデはそこからサウルの骨と、その子ヨナタンの骨を携えて上った。また人々はそのかけられた者ども骨を集めた。

2サム21:14 こうして彼らはサウルとその子ヨナタンの骨を、ベニヤミンの地のゼラにあるその父キシの墓に葬り、すべて王の命じたようにした。この後、神はその地のために、祈を聞かれた。

2サム21:15 ペリシテびとはまたイスラエルと戦争をした。ダビデはその家来たちと共に下ってペリシテびとと戦ったが、ダビデは疲れていた。

2サム21:16 時にイシビベノブはダビデを殺そうと思った。イシビベノブは巨人の子孫で、そのやりは青銅で重さ3百シケルあり、彼は新しいつるぎを帯びていた。

2サム21:17 しかしゼルヤの子アビシャイはダビデを助けて、そのペリシテびとを撃ち殺した。そこでダビデの従者たちは彼に誓って言った、“あなたはわれわれと共に、重ねて戦争に出てはなりません。さもないと、あなたはイスラエルのともし火を消すでしょう”。

2サム21:18 この後、再びゴブでペリシテびととの戦いがあった。時にホシャびとシベカイは巨人の子孫のひとりサ

フを殺した。

2サム21:19 ここにまたゴブで、ペリシテびととの戦いがあったが、そこではベツレヘムびとヤレオレギムの子エルハナンは、ガテびとゴリアテを殺した。そのやりの柄は機の巻棒のようであった。

2サム21:20 またガテで再び戦いがあったが、そこにひとりの背の高い人があり、その手の指と足の指は6本ずつで、その数は合わせえて24本であった。彼もまた巨人から生れた者であった。

2サム21:21 彼はイスラエルをののしったので、ダビデの兄弟シメアの子ヨナタンが彼を殺した。

2サム21:22 これらの4人はガテで巨人から生れた者であったが、ダビデの手とその家来たちの手に倒れた。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム22: サムエル記下 第22章

2サム22:1 ダビデは主がもろもろの敵の手とサウルの手から、自分を救いだされた日に、この歌の言葉を主に向かって述べ、

2サム22:2 彼は言った、“主はわが岩、わが城、わたしを救う者、

2サム22:3 わが神、わが岩わたしは彼に寄り頼む。わが盾、わが救の角、わが高きやぐら、わが避け所、わが救主、あなたはわたしを暴虐から救われる。

2サム22:4 わたしは、ほめまつるべき主に呼ばわって、わたしの敵から救われる。

2サム22:5 死の波はわたしをとりまき、滅びの大水はわたしを襲った。

2サム22:6 陰府の綱はわたしをとりかこみ、死のわなはわたしに、たち向かった。

2サム22:7 苦難のうちにわたしは主を呼び、またわが神に呼ばわった。主がその宮からわたしの声を聞かれて、わたしの叫びはその耳にとどいた。

2サム22:8 その時地は震いうごき、天の基はゆるぎふるえた。彼が怒られたからである。

2サム22:9 煙はその鼻からたち上り、火はその口から出て焼きつくし、白熱の炭は彼から燃え出た。

2サム22:10 彼は天を低くして下られ、暗やみが彼の足の下にあった。

2サム22:11 彼はケルブに乗って飛び、風の翼に乗ってあらわれた。

2サム22:12 彼はその周囲に幕やとして、やみと濃き雲と水の集まりとを置かれた。

2サム22:13 そのみ前の輝きから炭火が燃え出た。

2サム22:14 主は天から雷をとどろかせ、いと高き者は声を出された。

2サム22:15 彼はまた矢を放って彼らを散らし、いなずまを放って彼らを撃ち破られた。

2サム22:16 主のとがめと、その鼻のいぶきとによって、海の底はあらわれ、世界の基が、あらわになった。

2サム22:17 彼は高き所から手を述べてわたしを捕え、大水の中からわたしを引き上げ、

2サム22:18 わたしの強い敵と、わたしを憎む者からわたしを救われた。彼らはわたしにとって、あまりも強かったからだ。

2サム22:19 彼らはわたしの災いの日にわたしに、たち向かった。しかし主はわたしの支柱となられた。

2サム22:20 彼はまたわたしを広い所へ引きだされ、わたしを喜ばれて、救ってくださった。

2サム22:21 主はわたしの義にしたがってわたしに報い、わたしの手の清きにしがってわたしに報いかえされた。

2サム22:22 どれは、わたしが主の道を守り、悪を行わず、神から離れたことがないからである。

2サム22:23 そのすべてのおきてはわたしの前にあって、わたしはその、み定めを離れたことがない。

2サム22:24 わたしは主の前に欠けた所なく、自らを守って罪を犯さなかった。

2サム22:25 それゆえ、主はわたしの義にしたがい、その目のまえにわたしの清きにしがって、わたしに報いられた。

2サム22:26 忠実な者には、あなたは忠実な者となり、欠けた所のない人には、あなたは欠けた所のない者となり、

2サム22:27 清い者には、あなたは清い者となり、まがった者には、かたいじな者となられる。

2サム22:28 あなたはへりくだる民を救われる、しかしあなたの目は高ぶる者を見て、これをひくくせられる。

2サム22:29 まことに、主よ、あなたはわたしのともし火、わが神はわたしのやみを照される。

2サム22:30 まことに、あなたによって、わたしは敵軍をふみ滅ぼし、わが神によって石がきをとび越えることができる。

2サム22:31 この神こそ、その道は非のうちどころなく、主の約束は真実である。彼はすべて彼に寄り頼む者の盾である。

2サム22:32 主のほか、だれが神か、われらの神のほか、だれが岩であるか。  
2サム22:33 この神こそわたしの堅固な避け所であり、わたしの道を安定にされた。  
2サム22:34 わたしの足をめじかの足のようにして、わたしを高い所に安全に立たせ、  
2サム22:35 わたしの手を戦いに慣らされたので、わたしの腕は青銅の弓を引くことができる。  
2サム22:36 あなたはその救いの盾をわたしに与え、あなたの助けは、わたしを大いなる者とされた。  
2サム22:37 あなたはわたしが歩く広い場所を与えられたので、わたしの足はすべらなかつた。  
2サム22:38 わたしは敵を追って、これを滅ぼし、これを絶やすまでは帰らなかつた。  
2サム22:39 わたしは彼らを絶やし、彼らを砕いたので、彼らは立つことができず、わたしの足もとに倒れた。  
2サム22:40 あなたは戦いのために、わたしに力を帯びさせ、わたしを攻める者をわたしの下にかがませられた。  
2サム22:41 あなたによって、敵は、そのうしろをわたしに向けたので、わたしを憎む者をわたしは滅ぼした。  
2サム22:42 彼らは見まわしたが、救う者はいなかつた。彼らは主に避けんだが、彼らには答えられなかつた。  
2サム22:43 わたしは彼らを地にちりのように、細かに打ちくだき、ちまたのどろのように、踏みにじった。  
2サム22:44 あなたはわたしを国々の民との争いから救い出し、わたしをもろもろの国民のかしらとされた。わたしの知らなかつた民がわたしに仕えた。  
2サム22:45 異国の人たちはきてわたしにこび、わたしの事を聞くとすぐわたしに従つた。  
2サム22:46 異国の人たちは、うちしおれて、その城からふるえながら出てきた。  
2サム22:47 主は生きておられる。わが岩はほむべきかな。わが神、わが救の岩はあがむべきかな。  
2サム22:48 この神はわたしのために、あだを報い、もろもろの民をわたしの下に置かれた。  
2サム22:49 またわたしを敵から救い出し、あだの上にわたしをあげ、暴虐の人々からわたしを救い出された。  
2サム22:50 それゆえ、主よ、わたしはもろもろの国民の中出、あなたをたたえ、あなたの、み名をほめ歌うであらう。  
2サム22:51 主はその王に大いなる勝利を与え、油を注がれた者に、ダビデとその子孫とに、とこしえに、いつくしみを施される”。

2サム\*\*\*:  
2サム\*\*\*:  
2サム\*\*\*:  
2サム\*\*\*:  
2サム\*\*\*:

2サム23: サムエル記下 第23章

2サム23:1 これはダビデの最後の言葉である。エッサイの子ダビデの託宣、すなわち高く挙げられた人、ヤコブの神に油を注がれた人、イスラエルの良き歌びとの託宣。  
2サム23:2 ”主の霊はわたしによって語る、その言葉はわたしの下の上にある。  
2サム23:3 イスラエルの神は語られた、イスラエルの岩はわたしに言われた、’人を正しく治める者、神を恐れて、治める者は、  
2サム23:4 朝の光のように、雲のない朝に、輝きでる太陽のように、地に若草を芽ばえさせる雨のように人に臨む’。  
2サム23:5 まことに、わが家はそのように、神と共にあるではないか。それは、神がよろず備わって確かな、とこしえの契約をわたしと結ばれたからだ。どうして彼はわたしの救と願いを、皆なしとげられぬことがあろうか。  
2サム23:6 しかし、よこしまな人は、いばらのようで、手をもって取ることができないゆえ、みな共に捨てられるであらう。  
2サム23:7 これに触れようとする人は、鉄や、やりの柄をもって武装する、彼らはことごとく火で焼かれるであらう”。  
2サム23:8 ダビデの勇士たちの名は次のとおりである。タクモンびとヨセブ・バッセベテはかの3人のうちの長であつたが、彼はいちじに8百人に向かつて、やりをふるい、それを殺した。  
2サム23:9 彼の次のアホアびとドドの子エレアザルであつて、3勇士のひとりである。彼は、戦おうとしてそこに集まつたペリシテびとに向かつて戦いをいどみ、イスラエルの人々が退いた時、ダビデと共にいたが、  
2サム23:10 立ってペリシテびとを撃ち、ついに手が疲れ、手がつるぎに着いて離れないほどになった。その日、主は大いなる勝利を与えられた。民は彼のあとに帰つてきて、ただ殺された者をはぎ取るばかりであつた。  
2サム23:11 彼の次のハラルびとアゲの子シャンマであつた。ある時、ペリシテびとはレヒに集まつた。そこに一面にレンズ豆を造つた地所があつた。民はペリシテびとの前から逃げたが、  
2サム23:12 彼はその地所の中に立って、これを防ぎ、ペリシテびとを殺した。そして主は大いなる救を与えられた。

2サム23:13 30人の長たちの撃ちに3人は下って行って刈入れのころに、アドラムのほら穴にいるダビデのもとにきた。時にペリシテびとの1隊はレパイムの谷に陣を取っていた。

2サム23:14 その時ダビデは要害におり、ペリシテびとの先陣はベツレヘムにあったが、

2サム23:15 ダビデは、せつに臨んで“だれかベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水をわたしに飲ませてくれるとよいのだが”と言った。

2サム23:16 そこでその3人の勇士たちはペリシテびとの陣を突き通って、ベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水を汲み取って、ダビデのもとに携えてきたしかしダビデはそれを飲もうとはせず、主の前にそれを注いで、

2サム23:17 言った、“主よ、わたしは断じて飲むことをいたしません。いのちをかけて行った人々の血を、どうしてわたしは飲むことができましょう”。こうして彼はそれを飲もうとはしなかった。3勇士はこれらのことを行った。

2サム23:18 ゼルヤの子ヨアブの兄弟アビシャイは30人の長であった。彼は3百人に向かって、やりをふるい、それをころした。そして、彼は3人と共に名を得た。

2サム23:19 彼は30人のうち最も尊ばれた者で、彼らの長となった。しかし、かの3人は及ばなかった。

2サム23:20 エホヤダの子ベナヤはカブジエル出身の勇士であって、多くのてがらを立てた。彼はモアブのアリエルのふたりの子を撃ち殺した。彼はまた雪の日の下って行って、穴の中でししを撃ち殺した。

2サム23:21 彼はまた姿のうるわしいエジプトびとを撃ち殺した。そのエジプトびとは手にやりを持っていたが、ベナヤはつえをとってその所の下っていき、エジプトびとの手からやりをもぎとって、そのやりをもって殺した。

2サム23:22 エホヤダの子ベナヤはこれらの事をして3勇士と共に名を得た。

2サム23:23 彼は30人のうちに有名であったが、かの3人には及ばなかった。ダビデは彼を待衛の長とした。

2サム23:24 30人のうちにあったのは、ヨアブの兄弟アサヘル。ベツレヘム出身のドドの子エルハナン。

2サム23:25 ハロデ出身のシャンマ。ハロデ出身のエリカ。

2サム23:26 バルテびとヘレヅ。テコア出身のエッケシの子イラ。

2サム23:27 アナトテ出身のアビエゼル。ホシャびとブンナイ。

2サム23:28 アホアびとザルモン。ネトバ出身のマハライ。

2サム23:29 ネトバ出身のバアナの子ヘレブ。ベニヤミンびとのギバアから出たリバイの子イッタイ。

2サム23:30 ペラトンベナヤ。ガアシの谷出身のヒダイ。

2サム23:31 アルバテびとアビアルボン。バホルム出身のアズマウテ。

2サム23:32 シャルバン出身のエリヤバ。ヤセンの子たち。ヨナタン。

2サム23:33 ハラルびとシャンマ。ハラルビトシャルの子アヒアム。

2サム23:34 マアカ出身のアハスパイの子エリペレテ。ギロ出身のアヒトペルの子エリアム。

2サム23:35 カルメル出身のヘヅロ。アルバびととペアライ。

2サム23:36 ゴバ出身のナタンの子イガル。ガドびとバニ。

2サム23:37 アンモンびとゼレク。ゼルヤの子ヨアブの武器を執る者、ベエロテ出身のナハライ。

2サム23:38 イテルびとイラ。イテルびとガレブ。

2サム23:39 ヘテびとウリヤ。合わせて37人である。

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム\*\*\*:

2サム24: サムエル記下 第24章

2サム24:1 主は再びイスラエルに向かって怒りを発し、ダビデを感動して彼らに逆らわせ、“行ってイスラエルとエダとを数えよ”と言われた。

2サム24:2 そこで王はヨアブおよびヨアブと共にいる軍の長たちに言った、“イスラエルのすべての部族のうちの、ダンからベエルシバまで行き巡って民を数え、わたしに民の数を知らせなさい”。

2サム24:3 ヨアブは王に言った、“どうぞあなたの神、主が、民を今よりも百倍に増してくださいように。そして王、わが主がまのあたり、それを見られますように。しかし王、わが主は何ゆえにこの事を喜ばれるのですか”。

2サム24:4 しかし王の言葉がヨアブと軍の長たちとに勝ったので、ヨアブと軍の長たちとは王の前を退き、イスラエルの民を数えるために出て行った。

2サム24:5 彼らはヨルダンを渡り、アロエルから、すなわち谷の中にある町から始めて、ガドに向かい、ヤゼルに進んだ。

2サム24:6 それからギレアデに行き、またヘテびとの地にあるカデシに行き、それからダンに至り、ダンからシドンま

わり、

2サム24:7 またシロの要害に行き、ヒビびと、およびガナンびとのすべての町に行き、ユダのネゲブに出てベエルシバへ行った。

2サム24:8 こうして彼らは国をあまねく行き巡って、9か月と20日を経てエルサレムにきた。

2サム24:9 そしてヨアブは民の総数を王に告げた。すなわちイスラエルには、つるぎを抜く勇士たちが80万であった。ただしユダの人々は50万であった。

2サム24:10 しかしダビデは民を数えた後、心に責められた。そこでダビデは主に言った、“わたしはこれをおこなって大きな罪を犯しました。しかし主よ。今どうぞしもべの罪を取り去ってください。わたしはひじょうに愚かなことをいたしました”。

2サム24:11 ダビデが朝起きたとき、主の言葉はダビデの先見者である預言者ガデに臨んで言った、

2サム24:12 行ってダビデに言いなさい、‘主はこう仰せられる、“わたしは3つのことを示す。あなたはその1つを選ぶがよい。わたしはそれをあなたに行うであろう”’。

2サム24:13 ガデはダビデのもとにきて、彼に言った、“あなたの国に3年のききんをこさせようか。あなたが敵に追われて3か月敵の前に逃げるようにしようか。それとも、あなたの国に3日の疫病をおくろうか。あなたは考えて、わたしがどの答えを、わたしをつかわされた方になすべきかを◆

24,13-1,べきかを決めなさい”。

2サム24:14 ダビデはガデに言った、“わたしはひじょうに悩んでいます、主のあわれみは大きいゆえ、われわれを主の手に陥らせてください。わたしを人の手には陥らせないでください”。

2サム24:15 そこで主は朝から定めの時まで疫病をイスラエルに下された。ダンからベエルシバまでに民の死んだ者は7万人あった。

2サム24:16 天の使が手をエルサレムに伸べてこれを滅ぼそうとしたが、主はこの害悪を悔い、民を滅ばしている天の使に言われた、“もはや、じゅうぶんである。今あなたの手をとどめるがよい”。その時、主の使はエブスびとアラウナの打ち場のかたわらにいた。

2サム24:17 ダビデは民を撃っている天の使を見た時、主に言った、“わたしは罪を犯しました。わたしは悪を行いました。しかしこれらの羊たちは何をしたのですか。どうぞあなたの手をわたしとわたしの父の家に向けてください”。

2サム24:18 その日ガデはダビデの所にきて彼に言った、“上って行って、エブスびとアラウナの打ち場で主に祭壇を建てなさい”。

2サム24:19 ダビデはガデの言葉に従い、主の命じられたように上って行った。

2サム24:20 アラウナは見おろして、王とそのしもべたちが自分の方に進んでくるのを見たので、アラウナは出てきて王の前に地にひれ伏して拝した。

2サム24:21 そしてアラウナは言った、“どうして王わが主は、しもべの所にこられましたか”。ダビデは言った、“あなたから打ち場を買い取り、主に祭壇を築いて民に下る災いをとどめるためです”。

2サム24:22 アラウナはダビデに言った、“どうぞ王、わが主のよいと思われる物を取ってささげてください。燔祭にする牛もあります。たきぎにする打穀機も牛のくびきもあります。

2サム24:23 王よ、アラウナはこれをことごとく王にささげます”。アラウナはまた王に、“あなたの神、主があなたを受けいれますように”と言った。

2サム24:24 しかし王はアラウナに言った、“いいえ、代価を支払ってそれをあなたから買い取ります。わたしは費用をかけずに燔祭をわたしの神、主にささげることはいけません”こうしてダビデは銀50シケルで打ち場と牛とを買い取った。

2サム24:25 ダビデはその所で主に祭壇を築き、燔祭と酬恩祭をささげた。そこで主はその地のために祈を聞かれたので、災がイスラエルに下ることはとどまった。